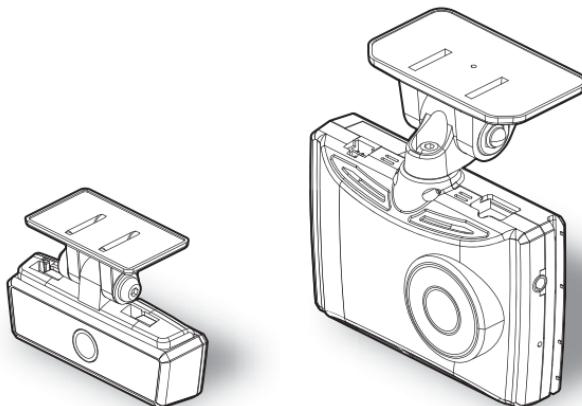


ドライブレコーダー HDR952GW

取付説明書／取扱説明書／保証書

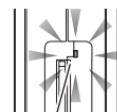


お買い上げ時の設定では、液晶ディスプレイは安全運転の妨げとならないように、起動後速度10km/h以上で走行すると非表示に切替ります。(⇒ P68)

この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書は取付けおよび操作手順について記載しております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。お読みになった後は、いつでも見ることができる所に保管してください。なお、本書の巻末に保証書が添付されています。必要事項を記入し、大切に保管してください。

△ 注意

本製品が動作した状態（駐車監視モード中含む）で microSDHC カードの抜差しを行わないでください。microSDHC カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず、車両キースイッチを OFF 後 microSDHC カードのアクセスランプ（橙）が消灯したことを確認し、microSDHC カードの抜差しを行なってください。
※駐車監視モード中は P75 を参考に取り出しを行なってください。



microSDHC カード
アクセスランプ

アドバイス

事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。

はじめに

取付け

映像を撮る

映像を見る

運転支援機能
を使用する

設定

駐車監視モード
を使用する

その他

目次

目次	2	運転支援機能を使用する	52
はじめに	3	運転支援機能について	52
安全上のご注意	3	キャリブレーションを行う	56
ご使用上のお願い	5	設定	58
知っておきたいこと	6	設定方法	58
新しい microSDHC カードを 使用する場合について	8	設定内容一覧	60
microSDHC カードの 取り出し方について	9	録画・録音設定	62
梱包内容	10	機能設定	65
各部名称	11	運転支援機能設定	71
別売オプション	12	機器情報	72
取付方法	13	駐車監視モードを使用する (オプション)	73
取付手順を確認する	13	駐車監視モードについて	73
シガープラグコードを接続する…	13	駐車監視モードの動作について…	74
フロントカメラの 取付位置を確認する	14	駐車監視モード作動中の microSDHC カードの取り出し方…	75
フロントカメラを取付ける	15	駐車監視モードの各種設定	76
リヤカメラを取付ける	21		
カメラ通信ケーブルの配線を行う…	23		
日時を設定する	25		
動作を確認する	26		
映像を撮る	28	付 錄	80
映像の記録について	28	よくあるご質問	80
電源を ON にする	34	LED ランプ確認表	81
電源を OFF にする	34	オートディマー機能	81
リセットスイッチについて	34	商標について	81
録画画面表示	35	メッセージ一覧表	82
		製品仕様	84
映像を見る	37	さくいん	85
フロントカメラで映像を再生する…	37	保証規定	87
ナビゲーションで映像を再生する…	40	HDR952GW 保証書	裏面
パソコンで映像を再生する	41		
パソコンで録画データを 保存 / 削除する	48		
地図表示について	50		
保存ファイルを開く	51		
ファームウェアを更新する	51		

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」、「注意」の2つに区分して、説明しています。

△ 警告 この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

△ 注意 この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。

本書で使用している記号について

	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
	この記号は、気をつけて頂きたい「注意」内容を示しています。
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XXはページ)
	アドバイス 本製品に関する補足情報を説明しています。
長押し	スイッチを3秒程度長めに押すことを示しています。

△ 警告

運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。

本製品を水につけたり、水をかけたり、またぬれた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両の故障の原因となります。

はじめに

△ 警告

-  本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与えるおそれがあります。
-  穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
-  異物が入ったり、煙が出てる、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
-  運転の妨げになる場所には取付けしないでください。事故の原因となります。
-  エアバッグの展開場所には取付けしないでください。万が一エアバッグが作動した場合、怪我の原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。
-  microSDHC カードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまうおそれがあります。
-  取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか、定期的に点検を行なつてください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。

△ 注意

-  気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
-  フロントカメラの通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。
-  本製品を下記のような場所で保管しないでください。変色や変形など故障の原因となります。
 - ・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。
 - ・湿度が高い所やほこりの多い所。
-  microSDHC カードを本製品に挿入する場合、挿入方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
-  本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。
 - ・静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ・水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ・長期間使用しなかった場合。
-  一部の先進運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。取付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

ご使用上のお願い

- 本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。またイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。
- microSDHC カードの抜き挿しを行う際は、必ず車両キースイッチ OFF 後 **microSDHC カードのアクセスランプ（橙）が消灯** したことを確認してから行なってください。microSDHC カードへのデータ書き込み中および読み込み中に microSDHC カードの抜き挿しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDHC カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDHC カード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。
- 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに動画で保存することをお勧めします。
- 本製品を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が綺麗に記録されない場合があります。
- 真夏などの炎天下の中で使用する場合、液晶画面に「高温注意」が表示されるなど製品が正常に動作しないことがあります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- 本製品の動作中、本体表面が熱くなることがありますが異常ではありません。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。

はじめに

- リヤガラスにスモークフィルムが貼られた車両（純正プライバシーガラス装着車除く）や夜間の明かりがない場所などでは、道路状況が見えにくい映像が記録される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入りなど）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS衛星からの電波が受信できない場合があります。
- 弱電界地域では地上デジタルテレビ放送が映らなくなる場合があります。
- Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、ビューアソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。あらかじめご了承ください。
- **運転支援機能は、運転者の負担軽減を目的とし、周辺状況を補助的にお知らせする機能です。すべての周辺状況を判断することはできません。お知らせの有無にかかわらず、必ず運転者が状況を確認して運転を行なってください。**
- 本製品にはお買い上げの日から 3 年間の製品保証がついています。
(ただし microSDHC カード、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません)
- 本製品を船舶、航空機、バイク、自転車で使用しないでください。
- 本製品は DC12V/24V 車専用です。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行なっておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、
本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

知っておきたいこと

● 液晶ディスプレイについて

- ・ 液晶ディスプレイは 99.99% 以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ 液晶ディスプレイは周囲の温度が約 75℃ 以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、約 -10℃ 以下になると画像が遅れて表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかるたりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。
※上記の状態でディスプレイが表示されていない場合でも、その他の機能は正常に動作しています。

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● GLONASS とは

「GLObal'naya NAVigatsionnaya Sputnikovaya Sistema」ロシア宇宙軍の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● 準天頂衛星「みちびき」(QZSS) とは

「Quasi Zenith Satellites System」宇宙航空研究開発機構（JAXA）の衛星を利用し、日本上空での現在位置を計測するシステムです。「みちびき」からの信号を受信することにより、GPSのみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、さらに正確な現在位置を計測できるようになりました。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を早めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

ナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

● GPS の測定誤差について

本製品の GPS 機能は衛星の受信状態などにより、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

● GPS の速度表示について

GPS での速度計測は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が出る場合があります。

● 日時情報保持用の内蔵バッテリーについて

- ・本製品は日時情報を保持するためにフロントカメラ内部にバッテリーを搭載しています。
- ・初めて使用する場合や長期未使用(6 ヶ月以上)の場合は、1 時間ほど走行し内蔵バッテリーの充電を行なってからご使用ください。
- ・内蔵バッテリーは消耗品のため充電を行なっても右記メッセージ画面が表示される場合は、裏表紙記載の弊社サービスセンターまでご相談ください。内蔵バッテリーの交換に関してはお預かり修理での対応となります。

日時がリセットされました
日時を再設定し、1時間程度走行して
バッテリーの充電を行なってください
症状が改善しない場合は、
バッテリーの交換を行なってください

はじめに

● microSDHC カードについて

- ・付属の microSDHC カードは本機専用です。
- ・本機を使用するときは、microSDHC カードが必要です。
- ・microSDHC カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1日2時間程度使用する場合で約1～2年を目安に交換することをお勧めします。
また、使用状況により microSDHC カードの寿命は短くなります。
- ※寿命となった microSDHC カードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。
- ・microSDHC カードをパソコンでフォーマットすると記録されたデータがすべて消去されます。
- ・本製品使用時は付属または弊社オプションの microSDHC カードを使用してください。付属または弊社オプション以外の microSDHC カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。

● 本製品のファイルシステムについて

- ・本製品はドライブレコーダー向けに開発された専用ファイルシステムを採用しています。
- ・本製品の専用ファイルシステムは記録と削除の繰り返しによる microSDHC カードの断片化が起こらないファイルシステムとなっているため、microSDHC カードを定期的にフォーマットせずに使用することができます。
- ・本製品で記録したデータをパソコンなどで削除を行うと、本製品に戻した際に録画データの整合性が取れず SD カードの初期化画面へ移行します。記録したデータを削除する場合は、ビューソフトを使用して削除する、またはフロントカメラの設定メニューから SD カードの初期化を行なってください。
- ・パソコンなどでフォーマットを行なった microSDHC カードを本機へ挿入すると SD カードの初期化画面が表示されますので、そのまま使用する場合は初期化を行なってください。

● パソコンでのフォーマットについて

- ・パソコンで microSDHC カードをフォーマットする場合は、専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットを行なってください。フォーマットソフトは、下記 SD アソシエーションのホームページから入手できます。
URL : https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter_4/index.html
※フォーマットをすると、microSDHC カードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行なってください。

● ビューソフトについて

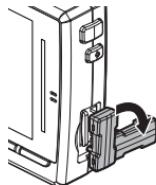
専用ビューソフトは弊社ホームページ (<https://www.e-comtec.co.jp/>) よりダウンロードを行うことができます。

新しい microSDHC カードを使用する場合について

弊社別売オプションの microSDHC カードなどの新しい microSDHC カードを使用する際は、起動時に表示されるメッセージに従い、SD カードの初期化を行なってください。(⇒ P82)

microSDHC カードの取り出し方について

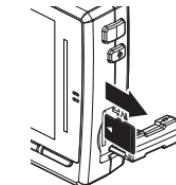
- microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。また挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。
- 駐車監視モード中は P75 を参考に取り出してください。



カバーを引き出し、
横へ倒す。



microSDHC カードを
軽く押し込み、

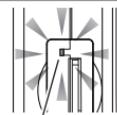


少し飛び出してきたら
引き抜く。

※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側に microSDHC カードのロゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

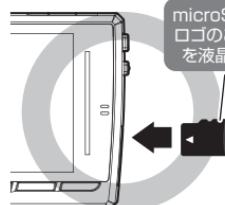
⚠ 注意

- エンジンを ON（車両キースイッチを ACC または ON）にした状態で microSDHC カードの抜差しを行わないでください。microSDHC カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず、車両キースイッチを OFF 後 microSDHC カードのアクセスランプ（橙）が消灯したことを確認し、microSDHC カードの抜差しを行なってください。
- microSDHC カードをフロントカメラの microSDHC カードスロットに差し込む際は、向きや挿入方向にお気を付けてください。無理に挿入すると、microSDHC カードスロットの破損や microSDHC カード自体の破損の原因となります。
- microSDHC カードを抜く際に、ラジオペンチなどの工具を使用しないでください。microSDHC カード破損の原因となります。
- microSDHC カードの移動や保管する場合は、付属のカードケースの利用をおすすめします。



microSDHC カード
アクセスランプ

正しい向き

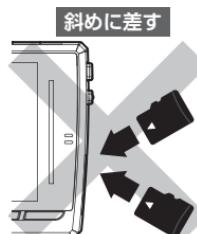


microSDHC
ロゴのある面
を液晶側に

間違い



裏向きに差す

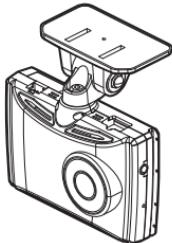


斜めに差す

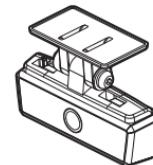
はじめに

梱包内容

HDR952GW フロントカメラ



リヤカメラ



付属品

シガープラグコード
(約 4m/1A ヒューズ内蔵)



カメラ通信ケーブル
(約 5m)



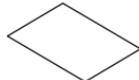
フロントカメラ固定用
両面テープ (1 枚)



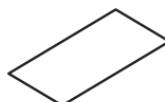
リヤカメラ固定用
両面テープ (1 枚)



脱脂クリーナー
(1 枚)



クッションテープ (1 枚)
(100mm × 180mm)



コードクランプ
(3 個)



六角レンチ
(ステー角度調整用)
(2.5mm/1 個)



microSDHC カード
(16GB/1 枚)



SD カード変換
アダプター (1 枚)



ステッカー (1 枚)
(150 × 42mm)



取扱説明書
(本書/1 冊)

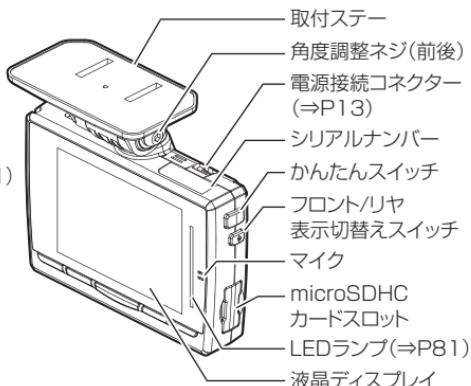


※出荷時本体にセット
されています。

アドバイス

弊社別売オプションの microSDHC カードなどの新しい microSDHC カードを使用する際は、起動時に表示されるメッセージに従い、SD カードの初期化を行なってください。(⇒ P82)

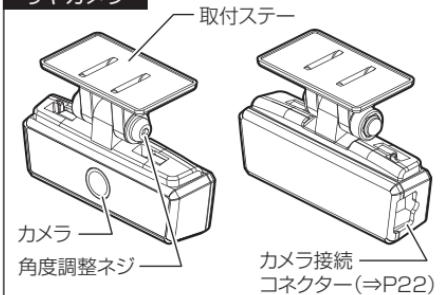
各部名称



■スイッチ操作部



リヤカメラ



△ 注意

- ・ microSDHC カードは消耗品であり、約 1 ~ 2 年を目安に交換することをお勧めします。
- ・ microSDHC カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・ 付属品以外の microSDHC カードの動作保証は致しかねます。
- ・ フロントカメラの通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。

はじめに

別売オプション

品名	使用目的 / 仕様	品番
AV ケーブル	本製品をナビゲーションなどで再生するためのケーブルです。 (ケーブル長：約 2.0m)	VC-100
microSDHC カード	メモリ容量：16GB スピードクラス：class10	HDROP-16
HDR952GW 用 カメラ延長ケーブル	カメラ通信ケーブルを延長するためのケーブルです。 (ケーブル長：約 3.0m)	HDROP-29
駐車監視・ 直接配線コード	本製品へ接続することで、車両キースイッチ OFF 後も車両バッテリーから電源供給を行い、録画を行うことができます。	HDROP-14
直接配線コード	本製品の電源を直接車両から供給する際に使用します。 (ケーブル長：約 4.0 m)	HDROP-15
シガープラグコード	本製品の電源を車両シガーソケットから供給する際に使用します。 (ケーブル長：約 4.0 m) ※付属品と同一製品	HDROP-18
ドライブレコーダー 取付ステー用両面テープ	フロントカメラの取付ステーを固定する際に使用します。 ※付属品と同一製品	HDROP-20
ステッカー [ドライブレコーダー 搭載車]	サイズ：150(W) × 42(H)/mm 1 枚入り ※付属品と同一製品	HDROP-06
ステッカー [駐車監視中]	サイズ：62(W) × 36(H)/mm 2 枚入り ※透明ステッカーに白色印刷タイプ	HDROP-07

取付手順を確認する

下記手順を参考に取付けを行なってください。

車両にシガープラグコードを接続する (P13)



車両に本製品を取付ける (P15～P19、P21～P24)



日時を設定する (P25)



動作を確認する (P26～P27)



フロントカメラの液晶で映像を
確認する (P37～P39)

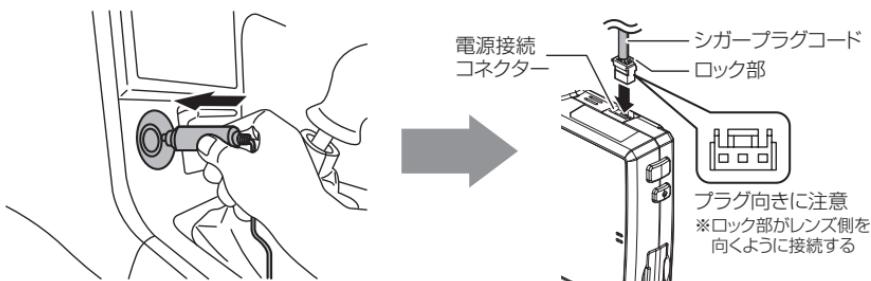
パソコンで映像を確認する
(P41～P44)



終了

シガープラグコードを接続する

車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを挿込み、フロントカメラの電源接続コネクターにシガープラグコードのコネクターを挿込んでください。

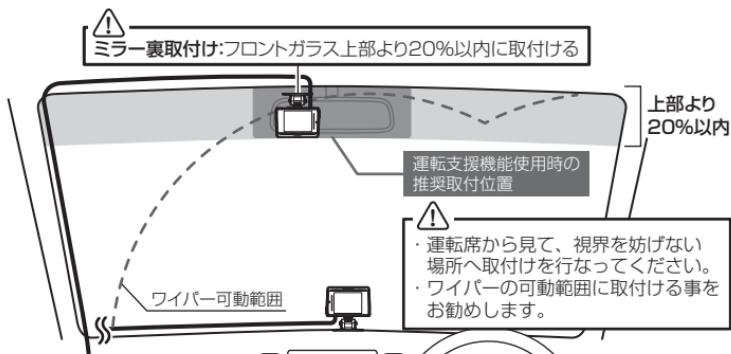


取付方法

フロントカメラの取付位置を確認する

フロントカメラはフロントガラス、またはダッシュボードに取付けることができます。保安基準に適合させるため、必ず下図および注意事項を確認の上取付けを行なってください。

運転支援機能を使用する場合、ボンネットを録画映像の下部から 25% 以内に収める必要があるため、フロントガラス上部・中央への取付けを推奨します。(⇒ P57)



△ 注意

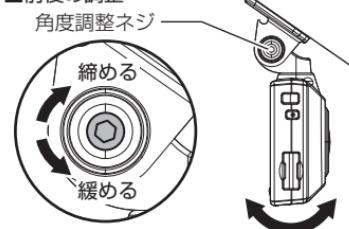
- ・フロントガラスへの取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より 20% 以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際ミラーと干渉しない位置に取付けしてください。
※道路運送車両の保安基準第 29 条（窓ガラス）、細目告示第 195 条および別添 37
※コードクランプなどの貼付けも保安基準違反となるため、絶対に行わないでください。
- ・ダッシュボードへ取付ける場合は、道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。
※道路運送車両の保安基準第 21 条（運転者席）、細目告示第 27 条および別添 29
- ・ワイパーの可動範囲に取付けることをお勧めします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。
- ・地デジや ETC 等のアンテナ近くには設置しないでください。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付けを行うか、ダッシュボードへ取付けを行なってください。
- ・本製品の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・本製品を車検シールの上に貼らないでください。
- ・車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。
- ・フロントカメラの取付位置（フロントガラスまたはダッシュボード）により衝撃の伝わりやすさは異なるため、取付位置を変更した場合は必ず G センサー設定を見直してください。
- ・フロントカメラ側に遮蔽物があると GPS 衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。

フロントカメラを取付ける

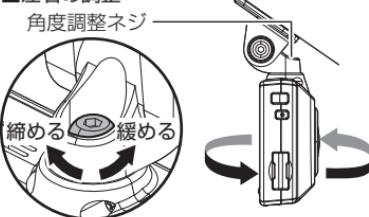
※ 本書ではフロントガラスへの取付けを例に説明を行います。

- ステーの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、フロントカメラの取付角度を調整します。調整後にネジを締めます。
 - フロントカメラステー部をフロントガラスに仮あてし、液晶の映像を確認しながらフロントカメラが地面と垂直になるように角度を調整してください。
 - 角度調整を容易に行うため、取付ステーをフロントガラスへ貼り付ける前に角度調整を行なってください。

■前後の調整



■左右の調整



△ 注意

- 必ず角度調整ネジを緩めた状態で角度調整を行なってください。破損の原因となります。
- 角度調整後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。
- 角度調整ネジを強く締めすぎると破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。

液晶の映像を確認しながら角度調整を行なっている際も、常時録画データやイベント録画データの記録を行なっているため、ご注意ください。

👉 アドバイス

- 液晶表示が消えた場合、【メニュー / 戻る】スイッチを短押しすることで30秒間液晶が再表示されます。(液晶表示が速度連動で走行中は除く) (⇒ P68)
- 撮影した映像が暗い場合はカメラ輝度調整の設定を変更するか、本製品を少し下向きになるように角度を調節してください。
- カメラレンズに触れてしまうとレンズが曇り、映像の焦点がズレてしましますので、取付ける際はレンズに触れないようご注意ください。
- 広角レンズを採用しているため、ステー取付角度によって、画面両端上に取付ステーが映り込む事があります。あらかじめご了承ください。

取付方法

アドバイス

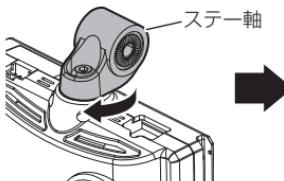
トラックやバスなどへ取付ける場合

トラックやバスなどのフロントガラスが地面に対して垂直に近い車両へ取付ける場合、以下の方法で取付ステーなどを組み替えることで取付ることができます。

- 1) ステー軸を 180° 回転させます。

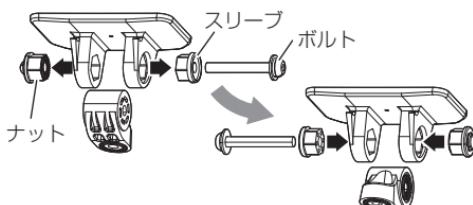


角度調整ネジ

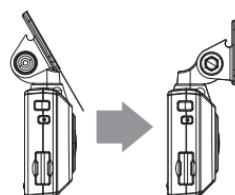


ステー軸の向きを 180° 回転させる

- 2) ボルトおよびナットをスリーブごと左右入れ替えると、傾斜角 90° のフロントガラスまで対応できます。



ボルトおよびナットをスリーブごと左右入れ替える
※取外す際に部品の落下・紛失にご注意ください

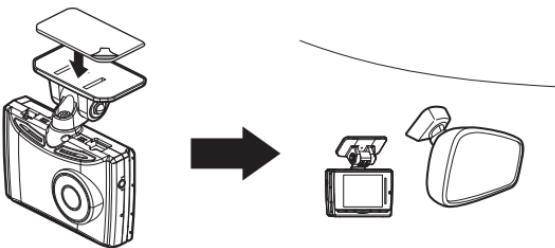


フロントガラスの傾斜角が
90°まで対応できます。
(通常時は 60°まで)

△ 注意

- 必ず角度調整ネジを緩めた状態で取外してください。破損の原因となります。
- 再度取付後は六角レンチで角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。
- 角度調整ネジを強く締めすぎると破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。

- 2) 付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよびフロントガラスを清掃し、よく乾かした後、取付ステーに両面テープを貼付け、フロントガラスに貼付けます。
※脱脂クリーナーはリヤカメラ取付時にも使用します。

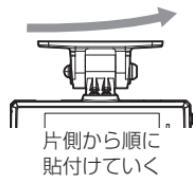


△ 注意

- ・自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- ・ダッシュボードの形状や素材によっては貼付きにくい場合があります。また、経年劣化等により両面テープを剥がす際に貼付面が破損するおそれがありますので注意ください。そのようなことが予想される場合、ルームミラー裏側フロントガラスへ取付けを行なってください。

アドバイス

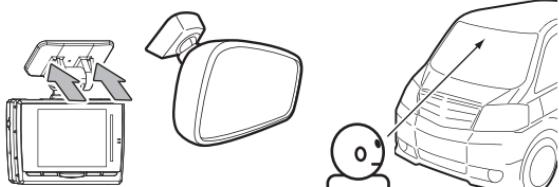
- ・ステーを貼付ける際は片側から順に少しづつ貼付けると、空気が入りにくくきれいに貼れます。
※一度に貼付けると空気が入りやすくなり、ステーが剥がれやすくなります。空気が残ってしまった場合は、中心の穴から空気を抜いてください



片側から順に貼付けていく

- ・貼付け面裏側のステー部を手でしっかりと押さえて貼付けムラがないようにしてください。また貼付後に、車外から貼付面にムラがないことを確認してください。

■ ステー貼付け面



ステー貼付け面を裏側から押さえる。

車外から貼付け面にムラがないことを確認する。



全体に貼付いている



気泡や色ムラがある

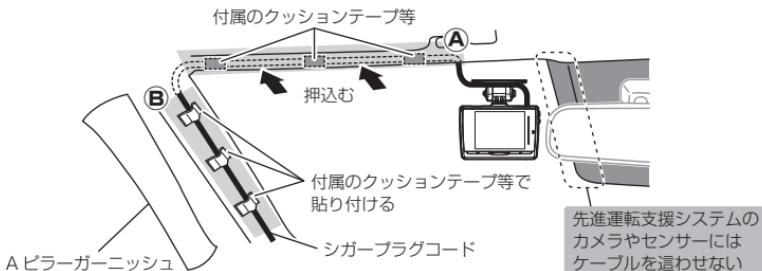
取付方法

剥がれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- 必ず付属のクリーナーで貼付け面および取付ステーの汚れ（油分・水滴など）をキレイにし、乾いてから取付けを行なってください。パーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。剥がれの原因となります。
- サンシェード等の日除けを使用する際は、フロントカメラをフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープ剥がれの原因となります。
- 極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼付けをしてください。また、製品に直接ドライヤーの熱が当らないよう注意してください。
- 一度貼付けた両面テープは粘着力が弱くなりますので再使用しないでください。
- 取付け後両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- 両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスまたはダッシュボードに貼り付いてないと剥がれことがあります。

3) シガープラグコードの配線の取回しを行なってください。

- Ⓐ部は電源コードに付属のクッションテープ等を巻いてルーフライニング内に入れてください。
- Ⓑ部は付属のクッションテープ等でAピラーに貼り固定してください。
※カーテンエアバッグには固定しないでください。カーテンエアバッグ作動不良のおそれがあります。



- 運転の妨げにならないように、付属のクッションテープやコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。
- 地デジやラジオ、ワイパー、ETC 等のケーブルと一緒に束ねないようにしてください。
- 先進運転支援システムのカメラやセンサーなどへケーブルを這わせて配線を行なわないでください。
- ケーブルの余長を車両 ECU やブロアモーターなどの付近へ束ねないでください。各装置より離して余長処理を行なってください。

ダッシュボードに取付ける場合

本製品は内蔵のGセンサーにより自動で上下を判別し、液晶表示が反転します。

フロントガラス取付けの場合



ダッシュボード取付けの場合



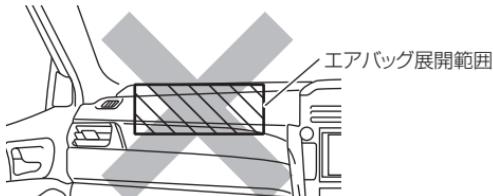
取付け

アドバイス

- ・画面の上下方向は起動時に判別しているため、使用中にフロントカメラを反転しても画面は反転しません。その場合は、再起動を行なってからご使用ください。
- ・リヤカメラの上下反転は、設定で変更することができます。(⇒ P64)

△ 注意

- ・自動車の機能の妨げになる場所やエアバッグの展開範囲には取付けないでください。エアバッグ作動時に本製品が乗員に当たるおそれがあります。



- ・ダッシュボードの形状や素材によっては貼付きにくい場合があります。また、経年劣化等により両面テープを剥がす際に貼付面が破損するおそれがありますのでご注意ください。そのようなことが予想される場合、ルームミラー裏側フロントガラスへ取付けを行なってください。

ダッシュボードへの取付けはダッシュボードの熱が伝わり、『高温注意 本体温度が下がるまで録画を停止します』のメッセージ表示がフロントガラスへの取付けに比べ出やすくなります。頻繁に表示される場合はフロントガラスへの取付けをおすすめします。

※メッセージ表示中は録画を行いません。本体温度が下がるまでお待ちください。

高温注意

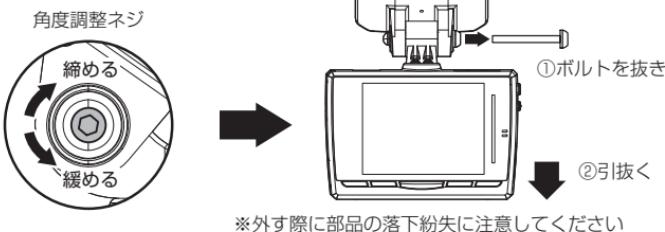
本体温度が下がるまで
録画を停止します

取付方法

フロントカメラを取り外す

角度調整ネジを緩めて、フロントカメラを引抜き取り外します。

■フロントガラス取り外し例



△ 注意

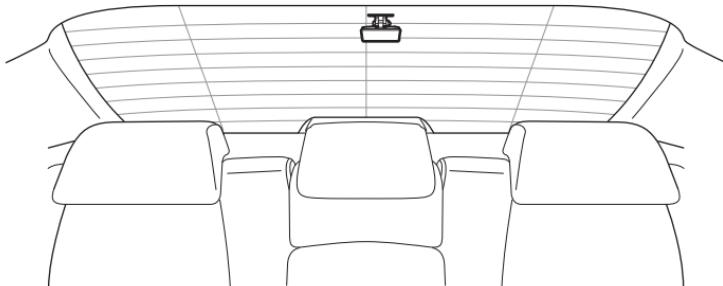
- 必ず角度調整ネジを緩めた状態で取外してください。破損の原因となります。
- 再度取付後は六角レンチで角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。
- 角度調整ネジを強く締めすぎると破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。

リヤカメラを取付ける

リヤカメラは必ず下記内容をご確認のうえ、リヤガラスに取付けてください。またフロントカメラ取付時の注意事項(⇒ P15～P18)も参考にしてください。

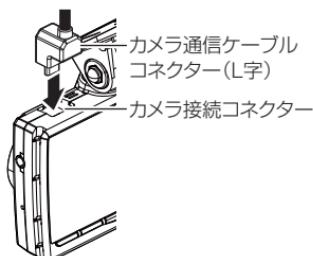
リヤカメラを取付ける前に下記内容を必ずご確認ください。

- ・本製品はフィルムのないガラス面への取付けを前提としています。リヤガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リヤカメラの重量でフィルムが剥がれる場合やリヤカメラを取り外す際にフィルムを痛めたり、フィルムが剥がれる場合があります。
- ・電動リヤサンシェードなど車両の装備と干渉しないことを確認のうえ、取付けを行なってください。
- ・リヤガラスがプライバシーガラスになっている場合、夜間の記録映像は特に見えにくくなります。
- ・ワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください。範囲外に取付けるとリヤガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。
- ・両面テープの貼付け面がリヤガラスの電熱線と重ならないように取付けてください。
- ・ラジオアンテナ付近にカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。



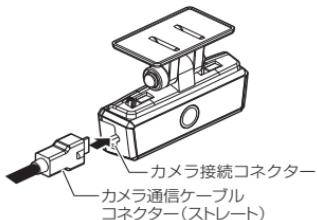
取付方法

- 1) フロントカメラのカメラ接続コネクターに付属のカメラ通信ケーブルコネクター(L字)を接続します。



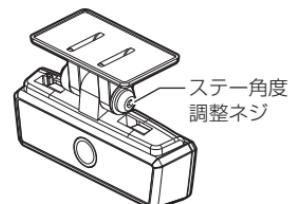
取付方法

- 2) リヤカメラのカメラ接続コネクターに
カメラ通信ケーブルコネクター（スト
レート）を接続します。



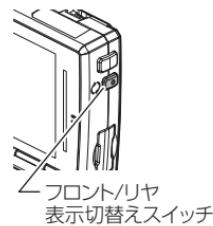
- 3) ステーの角度調整ネジを緩めた状態で仮
固定し、リヤカメラの取付角度を調整し
ます。調整後にネジを締めます。

- ・仮固定する際は、市販の粘着力の弱いテープな
どを使用してください
- ・ステー部をリヤガラスに仮あてし、液晶の映像
を確認しながらリヤカメラが地面と垂直になる
ように角度を調整してください。

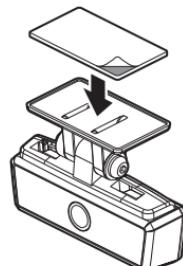


アドバイス

- ・録画画面の表示は「フロント / リヤ表示切替えスイッチ」
を押すたびに、フロントカメラの映像とリヤカメラの映
像が切替わります。（⇒ P36）
- ・カメラ通信ケーブルを接続していないと、起動時にブ
ザー音とメッセージ画面でお知らせします。また、「フ
ロント / リヤ表示切替えスイッチ」を押しても表示は切
り替わりません。



- 4) 付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよび
リヤガラスを清掃し、よく乾かした後、取
付ステーに両面テープを貼付け、リヤガラ
スに貼付けます。



- 5) カメラケーブルの配線の取回しを行なって
ください。

※運転の妨げにならないように、市販のコードク
ランプなどを使用し、配線の取回しを行なって
ください。

※地デジやラジオ、ワイヤー、ETC 等のケーブル
と一緒に束ねないようにしてください。

カメラ通信ケーブルの配線を行う

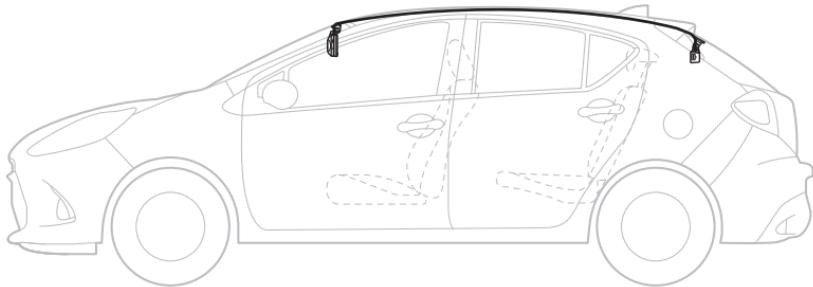
フロントカメラおよびリヤカメラの取付けを行なった後、カメラ通信ケーブルの配線を行なってください。

△ 注意

- ・運転の妨げにならないように、市販のコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。
- ・後部ドア開閉でのカメラ通信ケーブルの挟み込みに注意し、取付けを行なってください。
- ・配線作業時にコネクターやケーブルを無理に引っ張ったり、曲げたりしないでください。断線の原因となります。

- ・地デジやラジオ、ワイパー、ETC 等のケーブルと一緒に束ねないようにしてください。
- ・先進運転支援システムのカメラやセンサーなどへケーブルを這わせて配線を行なわないでください。
- ・ケーブルの余長を車両 ECU やプロアモーターなどの付近へ束ねないでください。各装置より離して余長処理を行なってください。

■配線概要図 ※ループに取回す場合



取付方法

HDROP-29 カメラ延長ケーブルについて

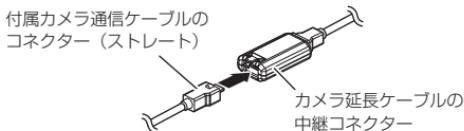
付属カメラ通信ケーブルの長さは約 5.0m です。ワンボック
ス車やミニバンなどへ取付ける際に長さが足りない場合は、
別売オプションの HDROP-29『カメラ延長ケーブル（約
3.0m）』を使用し、取付けを行なってください。



接続方法

付属カメラ通信ケーブルのコネクター（ストレート）を、カメラ延長ケーブルの中継
コネクターへ接続してください。

※ 接続後異音防止のため、中継コネクターへ本製品付属のクッションテープを巻いて
ください。



△ 注意

カメラ延長ケーブルの中継コネクターは運転の妨げや車両への乗り降りの際に踏んだ
り濡れることがないような場所へ固定してください。事故や破損の原因となります。

日時を設定する

車両にフロントカメラを取り付けた後に日時設定を行なってください。

※ GPS衛星を受信すると自動的に日時を設定します。

※ 本製品は日時情報を保持するためにフロントカメラ内部にバッテリーを搭載しています。内蔵バッテリーが消耗すると日時情報がリセットされ、起動時にメッセージ画面とブザー音でお知らせします。その場合正確な日時で映像が記録できなくなるため、必ず日時を設定し直してください。

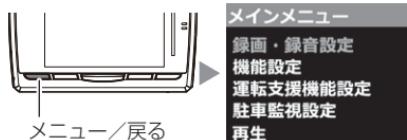
アドバイス

GPS衛星が受信しにくい場所では、あらかじめ手動で日時を設定することをおすすめします。

設定方法

- 【メニュー／戻る】を長押しし、[メインメニュー]を表示する。

※ 60秒間スイッチ操作を行わない
と録画画面に戻ります。



- 【アップ】【ダウン】を押し [機能設定] を選択し 【OK】を押す。



- 【アップ】【ダウン】を押し [日時設定] を選択し、【OK】を押す。



- 【アップ】【ダウン】で設定し、【OK】で次の項目に移動します。内容を変更後、「設定」で【OK】を押して決定します。



取付方法

動作を確認する

1.GPS の受信を確認する

車両キースイッチを ON にし、フロントカメラ起動後、GPS アイコンが灰色から白色に変わり速度が表示されることを確認してください。

※ GPS の受信には数十秒～数分かかる場合があります。



アイコン	表示内容
	GPS を受信時に表示
	GPS を未受信時に表示

👉 アドバイス

下記のような場所では、GPS を受信することができず、GPS アイコンの表示および速度の表示がされません。（トンネル・地下道・建物の中・ビルなどに囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・森の中など）その場合、場所を移動してから確認を行なってください。

2. マニュアル録画の動作を確認する

- 1) LED ランプが緑点灯している時に、ラジオ やオーディオを鳴らした状態で、**【OK】** **【ダウ**
ン】 **【アップ】** スイッチのいずれかを押してください。

※かんたんスイッチの設定を [録画] に設定している場合、かんたんスイッチでもマニュアル録画を行うことができます。(⇒ P67)

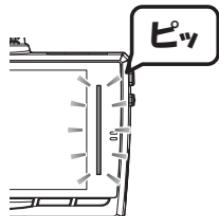


【OK】 【ダウン】 【アップ】
スイッチを押す

取付け

- 2) 『ピッ』と音が鳴り、LED ランプが緑点滅を始め、音声および録画データを記録します。

※音声は自動で録音されます。



LEDランプ緑点滅

アドバイス

お買い上げ時の録音設定は [ON (大)] になっています。設定で OFF にすることもできます。(⇒ P62)

3. 記録した映像を確認する

記録した映像を確認してください。(⇒ P37)

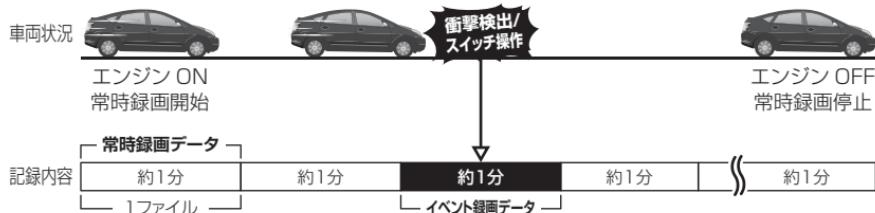
《確認内容》

- ・『常時録画』内に電源 ON から電源 OFF までの映像が正常に記録されていること
- ・『マニュアル録画』内にスイッチ操作で記録した映像が正常に記録されていること
- ・録画データに音声が録音されていること
- ・【フロント / リヤ表示切替え】スイッチを押して、リヤカメラの映像が記録されていること

映像を撮る

映像の記録について

本製品の記録方法は「常時録画」と「イベント録画」があります。



**事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。
その際は常時録画の映像をご確認ください。**

アドバイス

- お買い上げ時の設定では、microSDHC カードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。設定により上書き時の動作を変更することができます。(⇒ P63)
- スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。
- LED ランプが橙点灯または橙点滅している場合は、映像を記録することはできません。設定を終了させるか、メッセージを解除してください。
- 本製品は、重大な事故などで電源が遮断された場合でも記録中の録画データの破損を防ぎ保存を行う、バックアップ機能を搭載しています。

常時録画について

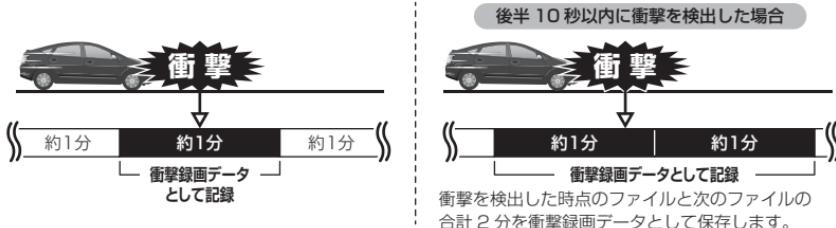
- エンジンを ON (車両キースイッチを ACC または ON) にした後からエンジンを OFF (車両キースイッチを OFF) にするまでを、常時録画データとして microSDHC カードに自動で記録を続けます。
- お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。

イベント録画について

- ・イベント録画には衝撃を検出した時点のファイルを記録する『衝撃録画データ』、スイッチ操作した時点のファイルを記録する『マニュアル録画データ』駐車中の衝撃を検出した時点のファイルを記録する『駐車監視衝撃録画データ』の3種類があります。
- ・お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・[上書き禁止] 設定を変更することにより、古い映像を消去せず、記録を停止することもできます。(⇒P63)

■衝撃録画データ

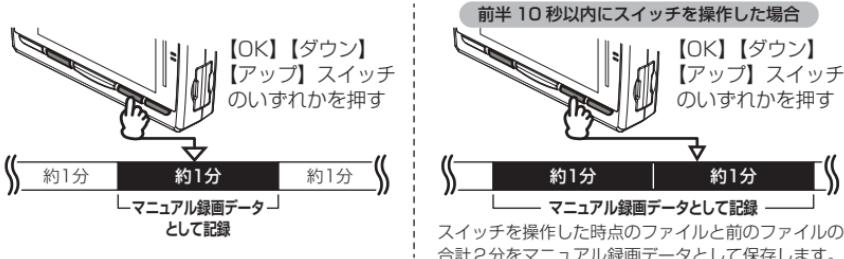
- ・本製品内蔵のGセンサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『衝撃録画データ』として記録します。
- ・1ファイルの前半10秒以内または後半10秒以内に、衝撃を検出した場合は、前もしくは後のデータも『衝撃録画データ』として記録されます。
- ・Gセンサーの感度は設定により前後・左右・上下それぞれ0.1G単位で感度調整することができます。(⇒P65)



映像を撮る

■マニュアル録画データ

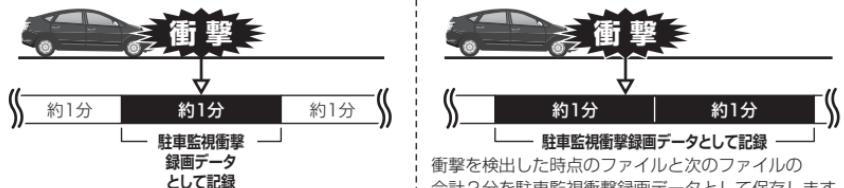
- ・本製品のスイッチ（【OK】【ダウン】【アップ】スイッチ）を押すと、スイッチを操作した時点のファイルを『マニュアル録画データ』として記録します。
- ・1ファイルの前半10秒以内または後半10秒以内に、スイッチを操作した場合は、前もしくは後のデータも『マニュアル録画データ』として記録されます。



■駐車監視衝撃録画データ

- ・駐車監視モード中に本製品内蔵のGセンサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『駐車監視衝撃録画データ』として記録します。ただし、[駐車監視録画方式] 設定を【衝撃】に設定した場合は、衝撃検出時点の5秒前から1分間を『駐車監視衝撃録画データ』として記録します。
- ・駐車監視モード中のGセンサーの感度は設定により【高 / 中 / 低】の3段階で感度調整することができます。（⇒ P77）

◆常時・衝撃に設定した場合



◆衝撃に設定した場合



microSDHC カードの容量による記録時間の目安

記録時間は microSDHC カードの容量、録画サイズ設定、画質設定により変動します。下記表を参考にしてください。(下記表は フロントカメラとリヤカメラの常時録画およびイベント録画を含めた時間です)

※ 対応 microSDHC カード：8GB～32GB (class10 推奨)

※ 本製品付属 microSDHC カード：16GB (class10)

録画サイズ	画質	microSDHC カード容量		
		8GB	16GB	32GB
FullHD (注1)	高画質	約 40 分	約 80 分	約 160 分
	低画質	約 65 分	約 135 分	約 270 分
HD	高画質	約 55 分	約 115 分	約 230 分
	低画質	約 100 分	約 200 分	約 400 分
SD	高画質	約 175 分	約 350 分	約 700 分
	低画質	約 285 分	約 570 分	約 1140 分

※ (注1) リヤカメラの録画サイズは【HD】になります。

※ 本製品の初期設定は録画サイズが【Full HD】、画質が【高画質】イベント録画領域が【20%】駐車監視録画割合が【5%】に設定されています。

※ 上記の記録時間はあくまで初期設定での参考値です。設定により記録時間は異なります。

※ 市販の microSDHC カードを使用する場合は、必ず本製品で動作することを確認のうえ、ご使用ください。なお動作や保存などの保証は致しかねますので、あらかじめご了承ください。

※ 使用する microSDHC カードによっては上記録画時間と異なる場合があります。

初期設定の記録件数の目安

初期設定値 【Full HD・高画質・録画領域 20%・駐車監視録画割合 5%】の場合（フロントカメラとリヤカメラそれぞれ合計 86 件記録した場合）

容量	常時録画	イベント録画	駐車監視 常時録画	駐車監視 衝撃録画
フロントカメラ	65 件	16 件	3 件	2 件
リヤカメラ	65 件	16 件	3 件	2 件

※ 駐車監視録画の最低録画件数は 5 件、うち駐車監視衝撃録画は 2 件となります。

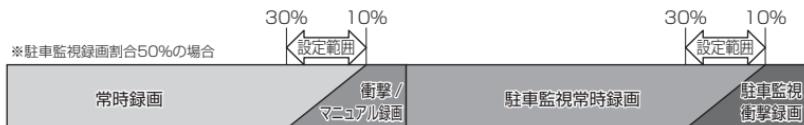
△ 注意

- 弊社別売オプションの microSDHC カードなどの新しい microSDHC カードを使用する際は、起動時に表示されるメッセージに従い、SD カードの初期化を行なってください。(⇒ P82)
- microSDHC カードは消耗品であり、1 日 2 時間程度使用する場合で約 1～2 年を目安に交換することをお勧めします。
- microSDHC カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- 付属品以外の microSDHC カードの動作保証は致しかねます。

映像を撮る

録画領域について

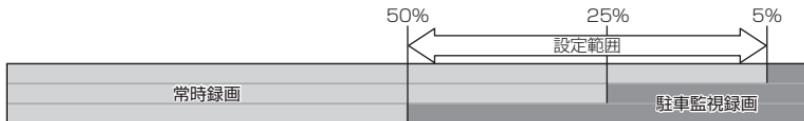
- お買い上げ時の設定では microSDHC カード全体の 80% を常時録画、20% をイベント録画の領域として設定されています。
- 設定によりイベント録画のデータ保存容量の割合を [10% / 20% / 30%] から選択することができます。(⇒ P62)
- イベント録画領域の設定を変更すると、常時録画と駐車監視常時録画の保存容量の割合は連動して変更されます。



- * 駐車監視録画割合50%の場合
- * 衝撃 / マニュアル録画データがない場合は 100%常時録画を記録します。
- * 録画領域を変更すると、SD カードの初期化を行うため変更前に記録されたすべてのデータが消去されます。

駐車監視録画割合について

- お買い上げ時の設定では microSDHC カード全体の 95% を常時録画、5% を駐車監視録画の割合として設定されています。
- 設定により駐車監視録画のデータ保存容量の割合を [5% / 25% / 50%] から選択することができます。(⇒ P76)
- 録画割合の設定を変更すると、常時録画の保存容量の割合も連動して変更されます。



- * 駐車監視録画割合を変更する場合、SD カードの初期化が必要となり、記録されたデータがすべて消去されます。変更する場合は必要に応じてパソコンなどへのバックアップを行なってから設定を変更してください。
- * 駐車監視録画データがない場合でも常時録画の記録できる時間は変わりません。
- * 駐車監視モード設定を ON に切替えると自動で 50%に変更されます。

保存先フォルダ名・ファイル名について

本製品が microSDHC カードに記録したデータは、各項目ごとのフォルダーへ録画を開始した日付・録画データの種類をもとにしたファイル名で保存されます。

フォルダーやファイルの変更または削除を行うと、SD カードの初期化が必要となり、全ての動画が削除されますのでご注意ください。

● フォルダ構成



映像を撮る

* 記録された動画ファイルのみパソコンへ保存しても、GPS や G センサーなどの付加情報は確認できません。

● ファイル名称は以下の内容で保存されます。

年	月	日	時	分	秒	カメラ種別			
A	S	-YY	MM	DD	-HH	MM	SS	-	□□□□□F.MOV
先頭の録画データ						ファイル作成順			
録画データ種類						000001 ~ 999999まで連番で保存			
A_ : 常時録画データ P_ : 駐車監視常時録画データ G_ : 衝撃録画データ PG_ : 駐車監視衝撃録画データ M_ : マニュアル録画データ T_ : 駐車監視常時タイムラップスデータ TG_ : 駐車監視衝撃タイムラップスデータ									
カメラ種別 F: フロントカメラ R: リヤカメラ									

例) 2025/10/20 17:23:45 に常時録画を開始した場合 (フロントカメラ)

Front	A_S-251020-172345-000001F.MOV
	A_-251020-172445-000002F.MOV
	A_-251020-172545-000003F.MOV
:	

* リヤカメラが未接続など正常に録画ができなかった場合、Rear_ フォルダー内には下記のような DMY ファイルが生成されます。

例) A_-251020-150418-000123R.DMY

アドバイス

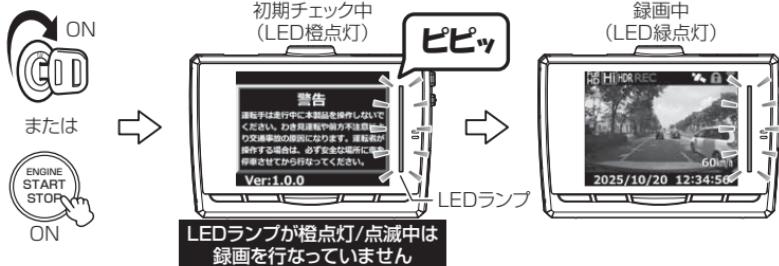
録画ファイルの上限について

- ・本製品は microSDHC カードに録画できるファイル数は、フロントカメラでの録画映像とリヤカメラでの録画映像それぞれ約 1200 ファイル、録画時間の上限は約 20 時間となります。また、microSDHC カードの容量や録画サイズにかかるわらず上記時間が最大となります。
- ・使用する microSDHC カードによっては上限が異なる場合があります。

映像を撮る

電源を ON にする

車両キースイッチを ACC または ON にしてください。



アドバイス

microSD カードチェック機能

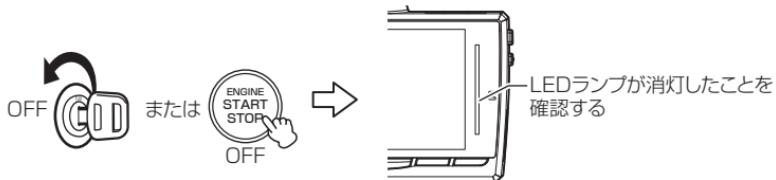
本製品では起動時に microSDHC カードをチェックし、カードが破損していた場合は液晶表示で異常をお知らせするため、撮り逃しを防止できます。

※対処方法に関しては P82 を参照ください。

SDカードを
確認してください

電源を OFF にする

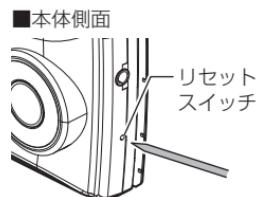
車両キースイッチを OFF にしてください。



リセットスイッチについて

本製品が動作しなくなったり、誤動作を起こした際はフロントカメラのリセットスイッチを先の細い物で押して、再起動してください。

※ リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。



録画画面表示



アイコン		表示内容
①	Full HD	録画サイズの設定を表示 (⇒ P62)
②	Hi Lo	画質の設定を表示 (⇒ P62)
③	HDR WDR	フロントカメラの画像補正の設定を表示 (⇒ P63)
④	REC	作動状態を表示
⑤	G M P PG	録画種類(衝撃 / マニュアル / 駐車常時 / 駐車衝撃)を表示
⑥	GPS受信状態	GPS の受信状態を表示
⑦	上書き禁止	上書き禁止の設定内容 (OFF/ イベント / ALL) を表示 (⇒ P63)
⑧	音声録音	音声録音の設定内容 (OFF/ON (小) / ON (大)) を表示 (⇒ P62)

映像を撮る

■液晶表示の切替えについて

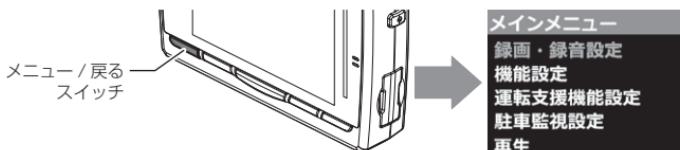
録画画面の表示は【フロント / リヤ表示切替えスイッチ】を押すたびに、フロントカメラの映像とリヤカメラの映像が切替わります。



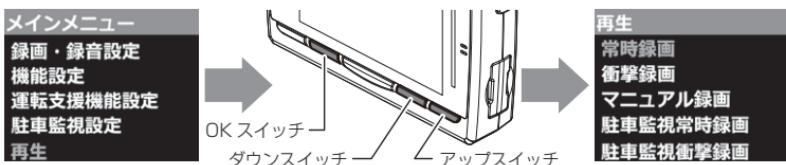
- ・リヤカメラを接続していないと映像は切替わりません。
- ・液晶表示を時計に設定した場合は映像は切替わりません。
- ・録画サイズをFullHDに設定していても、リヤカメラの録画サイズはHDになります。

フロントカメラで映像を再生する

1. 【メニュー / 戻る】を長押しし、メインメニューを表示する

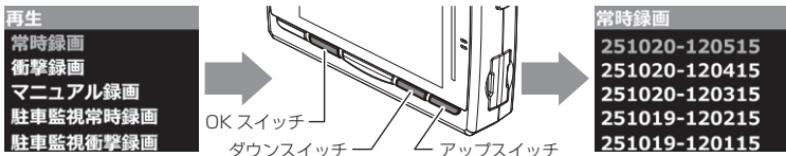


2. [再生] を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す



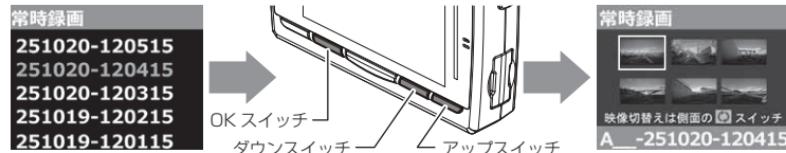
3. 映像の種類を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す

- ・[常時録画] 常時録画データを表示（駐車監視録画データは除く）
- ・[衝撃録画] 衝撃検出による録画データを表示
- ・[マニュアル録画] スイッチ操作による録画データを表示
- ・[駐車監視常時録画] 駐車監視中の常時録画データを表示
- ・[駐車監視衝撃録画] 駐車監視中に衝撃検出による録画データを表示



4. 見たいフォルダーを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す

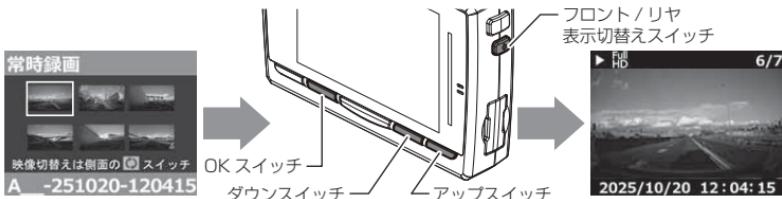
※フォルダー名称、ファイル名称に関してはP33をご参照ください。



映像を見る

5. 見たいファイルを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押すと映像の再生が始まります

※再生中に【フロント / リヤ表示切替え】を押すとフロントカメラとリヤカメラの映像が切り替わり、再生中のファイルの先頭から再生を行います。



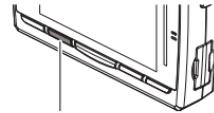
6. 再生終了後は【メニュー / 戻る】を押し、設定画面から抜けることで録画画面に戻ります。

※かんたんスイッチを押すことで録画画面へ戻すこともできます。

アドバイス

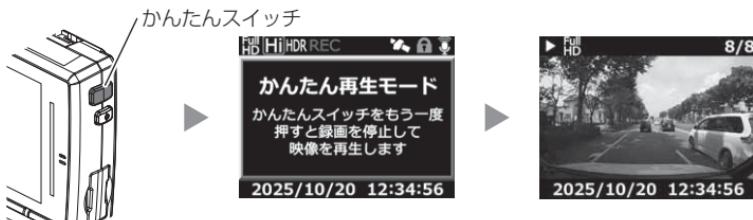
映像の一時停止 / 早送り

- 映像の再生中に【OK】を短押しすると、再生中の映像が一時停止します。再度【OK】を短押しすると映像の再生が再開されます。
- 映像再生中に【OK】を長押しすると、再生中の映像を早送りすることができます。早送りを解除するには【OK】の短押しで一時停止 / 再生を行なってください。



かんたん再生機能

- 本製品のかんたんスイッチを押すことで、最後に撮影した映像を設定メニューに入らずに再生することができます。
- 再生画面や設定画面中にかんたんスイッチを押すと録画画面に戻ります。
- かんたんスイッチの機能は設定で変更することができます。(⇒ P67)
- パスワードを設定していると「パスワード設定中です」と表示されて再生できません。かんたん再生機能を使用する場合はパスワードを解除してください。(⇒ P69)



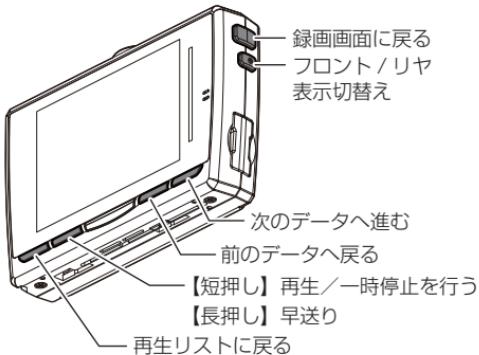
再生画面



アイコン				表示内容
①	▶	II	▶	動作状態（再生／一時停止／早送り）を表示
②	Full HD	HD	SD	録画サイズの設定を表示（⇒ P62）
③	G	M	P	録画種類（衝撃／マニュアル／駐車常時／駐車衝撃）を表示

映像を見る

■再生画面での操作



再生画面ではフロントカメラの映像とリヤカメラの映像を同時に表示することはできません。1画面ずつの切替表示となります。また、切替え後はそのファイルの先頭から再生を開始します。

映像を見る

ナビゲーションで映像を再生する

本製品をビデオ入力端子を備えたナビゲーションや車載モニターと別売オプションのAVケーブルで接続することで、フロントカメラの液晶表示をナビゲーションや車載モニターに表示させることができます。

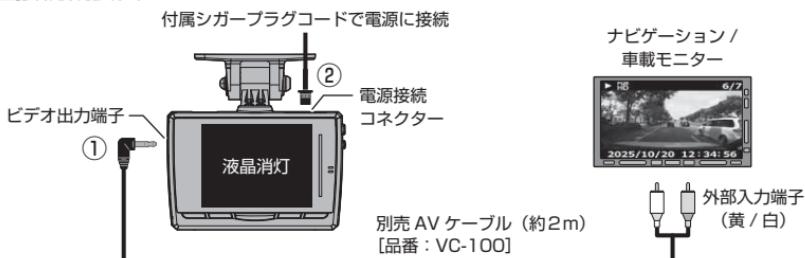
※ AVケーブルを接続し車載モニターなどへ映像を出力した場合は、液晶表示設定(⇒P68)の設定内容にかかわらず車載モニターなどへ映像を表示します。

△ 注意

電源がONの状態でAVケーブルの抜差しを行わないでください。起動中に行うとフロントカメラが再起動するなど、動作が不安定になります。必ず、電源OFF後LEDランプが消灯したことを確認してからAVケーブルの抜差しを行なってください。

映像再生方法

■接続概要図



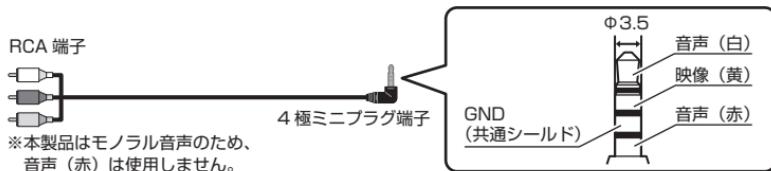
■再生方法

- 1) 別売 AV ケーブル (品番: VC-100) を本体のビデオ出力端子へ接続します。(上図 ①)
- 2) 付属シガープラグコードを本体の電源接続コネクターに接続します。(上図 ②)
- 3) P37,38 の手順に従い、記録した映像を再生してください。
(接続したモニターへ映像が表示されます。※本体液晶画面の表示は行いません)

市販のAVケーブルを使用する場合

本製品で使用出来るAVケーブルの4極ミニプラグ端子の仕様は、下記のイラストのようになっています。

使用する際は必ず、下記仕様に沿ったAVケーブルを使用してください。



パソコンで映像を再生する

本製品で録画した映像は、弊社ホームページよりダウンロードできる専用ビューアソフトを使用することで、2画面の映像を同時に再生したり加速度などの情報と併せて映像を見ることができます。

また録画データは MOV ファイルで保存されているので、Windows Media Player などで再生することができます。

アドバイス

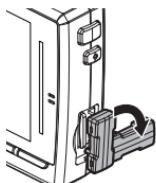
- ・ビューアソフトを使用する際は、下記に対応するパソコンのスペックを推奨します。
OS: 日本語版 Windows 8.1 / 10
CPU:Core i3 プロセッサ 1.9GHz 同等以上を推奨
メモリー:4GB 以上を推奨
画像解像度:FWXGA (1366 × 768 ピクセル) 以上を推奨
- ※ Internet Explorer がインストールされていないと正常に動作しない事があります。
- ・パソコンの OS アップデートによりビューアソフトが正常に動作しなくなった場合は弊社ホームページより最新版のビューアソフトをダウンロードし、お試しください。
※最新版のビューアソフトが公開されている場合、ビューアソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ)

ビューアソフトを使用する前に

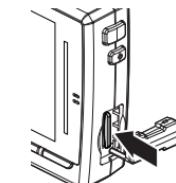
- 1) 車両キースイッチを OFF 後、microSDHC カードカバーを開け、microSDHC カードのアクセスランプ(橙)が消灯したことを確認し、microSDHC カードを取り出します。

※駐車監視モード中は P75 を参考に取り出してください。

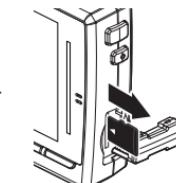
- ・ microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。
- ・ 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。



カバーを引き出し、横へ倒す。



microSDHC カードを軽く押し込み、
少し飛び出してきたら引き抜く。



少し飛び出してきたら
引き抜く。

映像を見る

2) フロントカメラから抜き取ったmicroSDHCカードをパソコンへ挿入します。



△ 注意

- microSDHCカードを取り出す際はエアコン吹出しが等に落とさないように気を付けてください。
- microSDHCカード内に本機以外のデータを入れないでください。データが正常に読み取れなくなるとビューソフトが起動しなくなります。

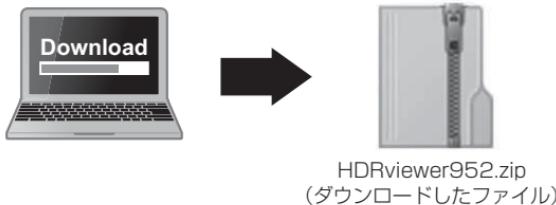
☞ アドバイス

ご使用のパソコンやカードリーダーにSDカードサイズのスロットしかない場合は、付属の「SDカード変換アダプター」を使用し、microSDHCカードをSDカードサイズに変換し、挿入してください。



ビューソフトを使用する

1) microSDHCカード内のショートカットファイル [HDR952GW_download] をダブルクリックし、ダウンロードページを表示し、専用ビューソフトをダウンロードします。



2) ダウンロードしたファイルを展開します。



3) 2)で展開したフォルダー内のビューソフト [HDRviewer952.exe] をダブルクリックし、ビューソフトを起動します。



HDRviewer952.exe
HDRviewer952.exe
COMTEC

4) ⑯ファイルリストから再生したいファイルを選び、【再生】ボタンを押すと映像が再生されます。

■再生画面



映像を見る

アドバイス

- ・ビューワーソフト起動時、本製品のファームウェアの更新データがある場合、更新のお知らせが表示されます。（インターネット接続時のみ）その際は画面表示および弊社ホームページの手順に従い、ファームウェアの更新を行なってください。
 - ・映像の再生中に microSDHC カードをパソコンから取り出すとビューワーソフトが正常に終了しなくなります。必ずビューワーソフトを終了させてから microSDHC カードの取り出しを行なってください。

映像を見る

①	フロントカメラ撮影動画を表示 ダブルクリックするとフルスクリーンモードで映像を表示し、再度ダブルクリックすると通常表示に戻る	⑯	【再生 / 一時停止】ボタン 再生を始める ※再生中は一時停止ボタンに切替わる
②	現在の再生位置を表示	⑰	【スロー】ボタン 再生速度を 1/2 にする ※早送りボタンで通常再生に戻る
③	加速度を数値で表示。	⑲	【早送り】ボタン 再生速度を 2 倍または 4 倍にする ※2倍速中に再度押すと4倍速に切替わる ※スローボタンで 1 段階ずつ再生速度を戻す
④	またチェックボックスの ON/OFF で加速度グラフへの表示 / 非表示を選択	⑳	【次】ボタン 現在再生中の 1 つ次のファイルに進む
⑤	再生データの録画日時を表示	㉑	【静止画】ボタン 押した時点の映像を静止画 (jpeg) で 1 枚のみ保存する
⑥	録画サイズおよび画質の設定内容を表示	㉒	【結合】ボタン 選択した録画データを結合し、1 つのファイルとして保存する
⑦	録画データの録音設定内容を表示	㉓	【拡大】ボタン ボタンを押すと拡大モードに移行し、画面をクリックした部分を 2 倍または 3 倍に拡大する ※画面をクリックするたびに切替え ※再度ボタンを押すと拡大モードを終了する
⑧	GPS の受信状態を表示	㉔	【参照】ボタン 録画データの参照先を変更する
⑨	自車の走行速度を表示 ※ GPS 受信時のみ表示	㉕	【削除】ボタン ファイルリストで選択したデータを削除する
⑩	加速度グラフおよび各種検出アイコンを表示 緑線.... 前後の加速度 (X 軸) 赤線.... 左右の加速度 (Y 軸) 紫線.... 上下の加速度 (Z 軸) 【G】.... 衝撃を検出した場所 【M】.... スイッチ操作を検出した場所 【P】.... 駐車監視中に衝撃を検出した場所 【▲】.... 急加速を検出した場所 【▼】.... 急減速を検出した場所 【★】.... 急ハンドルを検出した場所 【※】.... 緊急録画停止を検出した場所 ※車速アラーム設定で選択した速度を超過した区間を赤に色付け※ GPS 受信時のみ表示	㉖	【設定】ボタン ビューソフトの表示設定およびバージョン情報の表示を行う
⑪	Google マップを表示	㉗	【CSV】ボタン 録画データをリスト化し、CSV 形式で出力する (⇒ P46)
⑫	※ GPS 未受信状態での記録映像、インターネット未接続時はロゴを表示	㉘	【表示切替】ボタン フロントカメラとリヤカメラの表示位置を切替えます。 (⇒ P45)
⑬	最小化ボタン	㉙	【マップ表示切替】ボタン ボタンを押す度にマップの表示 / 非表示を切替え ※地図情報 OFF や GPS 未受信状態での記録映像、インターネット未接続時はロゴを表示
⑭	映像の表示サイズを切替える (小 / 中 / 大の 3 段階)	㉚	ビューソフトの音量を変更する
⑮	ビューソフトを終了する	㉛	リヤカメラ撮影動画を表示
⑯	各映像種類のチェックボックスの ON/OFF で、ファイルリストへの表示 / 非表示を選択	㉜	※ウィンドウ表示位置の移動可
⑰	録画データのフォルダーリストおよび各フォルダーに記録されている映像種類をアイコンで表示 (⇒ P46)	㉖	現在再生中の動画の最初に戻る
⑱	録画データのファイルリストを表示	㉗	【前】ボタン 現在再生中の 1 つ前のファイルに戻る
⑲	【先頭】ボタン	㉘	

リヤ画面表示位置について

リヤカメラ表示のウィンドウをクリックしたままマウスを移動すると、リヤカメラの表示位置を変更することができます。



リヤ画面表示切替について

ビューウィンドウの【表示切替】ボタンを押すとフロントカメラとリヤカメラの表示位置を切り替えることができます。



映像を見る

録画ファイルエリアについて

表示しているフォルダーを選択することで他の動画を再生することができます。

■ファイルエリア

チェックボックスのON/OFFを行うことで表示/非表示を選択

✓ 常時	✓ 衝撃	✓ マニュアル	✓ 駐車	✓ 駐車衝撃
Normal				
251020_0001				A_S-123356-000021
251020_0002				A__-123456-000022
251020_0003				A__-123556-000023
251020_0004				A__-123656-000024
251020_0005				A__-123755-000025
251020_0006				A__-123855-000026
251020_0007				A__-123955-000027
251020_0008				A__-124055-000028

選択中のフォルダー内の
ファイル数を表示

フォルダー内に記録されているイベントデータを表示

- 常時録画データのみ表示
- 衝撃録画データを表示
- マニュアル録画データを表示
- 駐車監視常時録画データを表示
- 駐車監視衝撃録画データを表示

CSV出力について

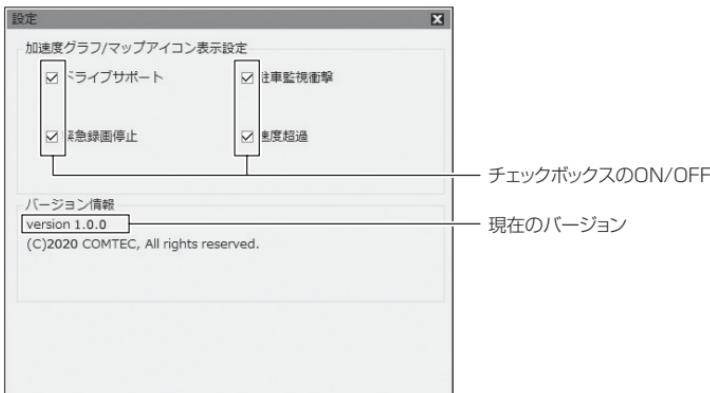
録画データの〔ファイル名 / 日付 / 開始時刻 / 録画時間 / 録画トリガー / 録画サイズ / 画質 / フレームレート / データサイズ (フロント・リヤ)〕をリスト化して CSV 形式で出力します。

表示設定について

1) ビューウィンドウの【設定】ボタンを押します。



2) [ドライブサポート / 緊急録画停止 / 駐車監視衝撃 / 速度超過] のチェックボックスを ON/OFF することで、加速度グラフへの表示または非表示にすることができます。



映像を見る

パソコンで録画データを保存 / 削除する

ビューウィンドウの【結合】ボタンまたは【静止画】ボタンを押すことで、録画データの結合または静止画で保存することができます。

また、【削除】ボタンを押すことで、録画データを選択して削除することもできます。

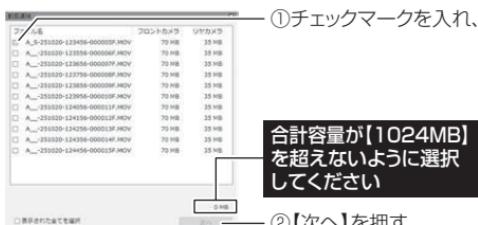
録画データを結合して保存する

本製品で記録した録画データを連結して1つのファイルとして保存することができます。フロントカメラの映像とリヤカメラの映像の2ファイルが保存されます。
※連続した録画データのみ連結して保存できます。個別に選択して連結することはできません。

※最大で1GB(1024MB)まで連結することができます。

※連結を行なった録画ファイルは色付けされます。

- 1) ビューウィンドウの【結合】ボタンを押し、保存したいファイルにチェックマークを入れ【次へ】を押す。



- ②【次へ】を押す

- 2) 動画を保存するフォルダーを指定または作成し、【OK】を押す。



フォルダーを指定する

新しいフォルダーを作成

【OK】を押す

パソコンへの録画データの保存について

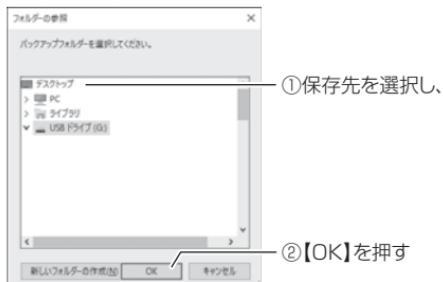
録画データをパソコンへ保存する際は必ず専用ビューウィンドウを使用し、保存してください。

※ フロント・リヤの動画ファイルと同フォルダー内に、走行情報(Gセンサーの値や位置情報など)が一緒に保存されています。ビューウィンドウで動画ファイルを保存していない場合、それらの情報は保存されず、映像を確認した際に、Gセンサーの値や走行位置が表示されません。

※ 保存した録画データはフォルダー単位で管理し、フォルダー内の動画ファイルだけのコピーや移動、ファイル名の変更は絶対にしないでください。

録画データを静止画で保存する

- 1) ビューアソフトの【静止画】ボタンを押し、静止画の保存先を選択し、【OK】を押す。



録画データを削除する

- 1) ビューアソフトの【削除】ボタンを押し、削除したいファイルにチェックマークを入れ、【削除】ボタンを押す。



アドバイス

録画データを削除する場合は、必ず専用ビューアソフトを使用してください。パソコンで直接カード内の動画ファイルを個別に選択して削除するとファイルの整合性が取れなくなり、正常に再生できない場合があります。

映像を見る

地図表示について

- Google マップはインターネット接続時および速度情報がある場合に表示されます。
- 地図上にファイルごとの走行軌跡や、衝撃検出・マニュアル検出・ドライブサポート・緊急録画停止検出・速度超過検出の位置が表示されます。
- 表示設定(⇒P44-⑧,P47)でアイコンの表示・非表示を切替えることができます。
- GPS の受信状況により、走行軌跡が地図上の道路からズレることがあります。あらかじめご了承ください。
- Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、ビューソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。その際は弊社ホームページより最新版のビューソフトをダウンロードしてご使用ください。※変更内容により対応できない場合があります。



《表示内容》

アイコン	内容	アイコン	内容	アイコン	内容
	衝撃検出アイコン		マニュアル録画検出アイコン		速度超過検出アイコン
	急加速アイコン (ドライブサポート)		急ブレーキアイコン (ドライブサポート)		急ハンドルアイコン (ドライブサポート)
	緊急録画停止検出アイコン				

アドバイス

- 地図上の検出位置アイコンをクリックすると映像の再生位置がアイコンの場所に移動します。
- ストリートビューでもアイコンは表示されますが、映像再生中の地図の移動はできません。

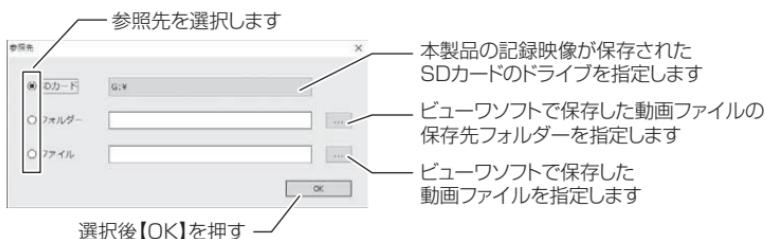
※ Google および Google ロゴ、Google マップ および Google マップ ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

保存ファイルを開く

1) ビューソフトの【参照】ボタンを押します。



2) 参照先を指定することで、ドライブやフォルダーに保存した動画を見るすることができます。



アドバイス

パソコンに保存したデータ(MOVファイル)を参照する際は、【フォルダー】または【ファイル】を選択してください。本製品で初期化したmicroSDHCカードのみ、【SDカード】を選択してSDカードのドライブを指定することでデータを確認することができます。

ファームウェアを更新する

弊社ホームページよりファームウェアソフトをダウンロードすることで、本製品のアップデートを行うことができます。

アドバイス

- ・弊社ホームページに更新ソフトがある場合、ビューソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ)
- ・更新方法の詳細はホームページをご確認ください。ただし更新ソフトの準備がない場合、掲載はありません。

運転支援機能を使用する

運転支援機能について

- ・本製品は安全で快適な運転をサポートする運転支援機能を搭載しています。
- ・本機能を使用する場合は必ずキャリブレーション（補正）(⇒ P56,57)を行なってください。
- ・本製品の運転支援機能は下記の 6 つの機能を搭載しています。

項目	内容
先行車発進お知らせ機能	先行車の発進を検出し、お知らせを行います。
先行車接近お知らせ機能	先行車への接近を検出し、お知らせを行います。
先行車接近継続お知らせ機能	先行車への <u>継続した</u> 接近を検出し、お知らせを行います。
車線逸脱お知らせ機能	走行車線の逸脱を検出し、お知らせを行います。
ドライブサポート機能	急加速や急減速等、一定以上の「G（加速・減速）」を検出し、お知らせを行います。
車速アラーム機能	設定した速度を超えた場合にお知らせを行います。

△ 注意

運転支援機能のお知らせの有無にかかわらず、必ず運転者が周囲の状況・状態を確認し、安全運転に努めてください。また、本書に従い正しく使用していた場合でも、動作を完全に保証するものではありません。万が一それに伴う損失が発生しても、弊社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

運転支援機能をご使用する前に下記内容をご確認ください。

- ・運転支援機能は運転者の負担軽減を目的とし、周辺状況、走行状態の変化を補助的にお知らせする機能です。すべての周辺状況、走行状態の変化を判断することはできません。お知らせの有無にかかわらず、必ず運転者が状況・状態を確認してください。
- ・一部機能は GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・フロントカメラの取付位置、角度、フロントガラスの汚れ、フロントガラスへの映り込みなどにより正しく動作しない場合があります。
- ・画像情報を基に動作するため、天候（雨・雪・濃霧など）、逆光、先行車の形状や色などにより認識できずお知らせしない場合や、車線以外の周辺物や景色の変化などでお知らせを行う場合があります。
- ・運転支援機能作動時の表示画面は録画ファイルに記録されません。

先行車発進お知らせ機能

停車時に前方の車両の発進を検出した場合、画面表示とアラームでお知らせします。

検出有効距離：0.3m～3m



自車が停車状態



先行車が発進



「ピンポーン♪
先行車を確認してください♪」

- ・GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・自車が停止状態の時のみ動作します。
- ・先行車との距離、位置や周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・画像情報に基づき動作するため、先行車以外の周辺物や景色の変化でもお知らせを行う場合があります。
- ・先行車の形状や色により正しく動作しない場合があります。
- ・お知らせ画面の表示は録画画面表示中のみ行います。

先行車接近お知らせ機能

時速 60km/h 以上で走行中に前方の車両に接近したことを検出した場合、画面表示とアラームでお知らせします。

運転支援機能
を使用する



時速 60km/h
以上で走行中に



先行車に接近



「ピピピピッ♪
先行車に接近しています♪」

- ・GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・自車が 60km/h 以上で走行時ののみ動作します。
- ・先行車との距離、位置や車線幅、周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・画像情報に基づき動作するため、先行車以外の周辺物や景色の変化でもお知らせを行う場合があります。
- ・先行車の形状や色により正しく動作しない場合があります。
- ・お知らせ画面の表示は録画画面表示中のみ行います。

運転支援機能を使用する

先行車接近継続お知らせ機能

・[先行車接近お知らせ] 終了後も、10秒継続して先行車より離れなかった場合、画面表示とアラームでお知らせします。

・お知らせをすることにより意図しない前方車両へのあおり運転を防止します。



接近が10秒続く



「ピピピピッ♪」

先行車に接近しています♪」

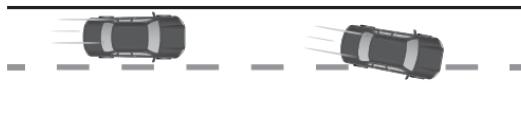
「ピピピピッ♪」

「車間距離を確認してください♪」

- ・本機能は[先行車接近お知らせ]機能と連動しているため、[先行車接近お知らせ]設定が【OFF】の場合、本機能の設定を行うことはできません。
- ・接近中は10秒ごとに3回までお知らせを行います。
- ・GPSを受信していない状態では動作しません。
- ・自車が60km/h以上で走行時ののみ動作します。
- ・先行車との距離、位置や車線幅、周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・画像情報を基に動作するため、先行車以外の周辺物や景色の変化でもお知らせを行なう場合があります。
- ・先行車の形状や色により正しく動作しない場合があります。
- ・お知らせ画面の表示は録画画面表示中のみ行います。

車線逸脱お知らせ機能

時速60km/h以上で走行中に自車が走行車線を逸脱したことを検出した場合、画面表示とアラームでお知らせします。



時速60km/h
以上で走行中に

走行車線を
逸脱



「ピピピピッ♪」

「走行車線を確認してください♪」

- ・GPSを受信していない状態では動作しません。
- ・自車が60km/h以上で走行時ののみ動作します。
- ・道路の色、車線の色、種類や周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・画像情報を基に動作するため、車線以外の周辺物や景色の変化でもお知らせを行なう場合があります。
- ・車両ウインカーと連動しないため、車線変更時にも車線逸脱お知らせを行います。
- ・お知らせ画面の表示は録画画面表示中のみ行います。

ドライブサポート機能

- ・急加速や急減速等、一定以上の「G（加速・減速）」を検出した場合、音声またはアラームでお知らせします。
- ・運転状況に応じてアナウンスは異なります。

運転状況	内容
急加速時	ピロリロリン♪ 急発進を検知しました。
急減速時	ピロリロリン♪ 急ブレーキを検知しました。
急ハンドル時	ピロリロリン♪ 急ハンドルを検知しました。

※ [G センサー] の設定値が【0.3G】以下の場合はお知らせしません。

※ 自車の走行速度が 30km/h 未満の場合は急ハンドル時のお知らせを行いません。

例) 急ブレーキを行なった場合



急ブレーキを行い、一定以上の G を検出

「ピロリロリン♪
急ブレーキを検知しました。」

アドバイス

- ・[G センサー] の設定値に応じて検出レベルが変化します。
- ・アラームが鳴らないように運転をすることで、加速・減速など運転をする際の目安にしてください。
- ・スイッチ操作または衝撃により映像を記録している時はドライブサポートは作動しないことがあります。

運転支援機能
を使用する

◇長時間運転報知機能

連続で 2 時間運転を行なった時に下記のアナウンスを行います。

※ ドライブサポート機能を『アラーム』に設定していてもアナウンスを行います。

「運転時間が 2 時間になりました。そろそろ休憩してください。」

車速アラーム機能

- ・設定した速度を超えた場合に、アラームでお知らせします。
- ・警告後 1 分間は再アラームを行いません。



自車が設定した速度を超える

「キンコン♪
キンコン♪
キンコン♪」

運転支援機能を使用する

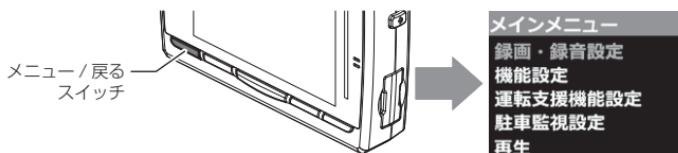
キャリブレーションを行う

運転支援機能を使用する場合は必ずキャリブレーションを行なってください。運転支援機能が正常に機能しない場合があります。

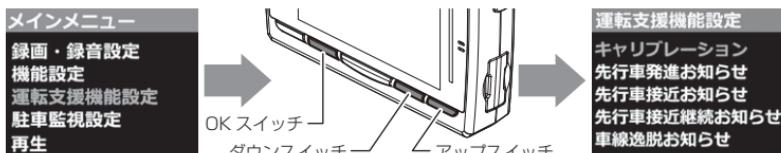
- ・キャリブレーションは他の車両の通行の妨げにならない安全な場所で行なってください。またなるべく平坦な場所で行なってください。
- ・運転者は走行中に操作を絶対に行わないでください。必ず停車した状態で操作を行なってください。
- ・P14に記載の推奨取付位置以外へ取付けた場合、キャリブレーションを行なっても正常に動作しない場合があります。

キャリブレーション方法

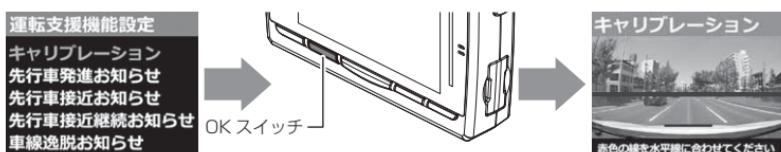
1. 【メニュー / 戻る】を長押しし、メインメニューを表示する



2. [運転支援機能] を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す

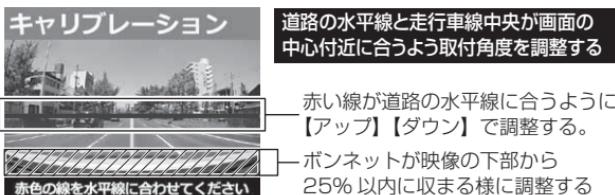


3. [キャリブレーション] が選択されているので、【OK】を押す



4. フロントカメラの角度を調整 (⇒P15) し、下記範囲内に収まる様に上下方向の調整を行います。その後【アップ】【ダウン】スイッチを操作し、赤色の横線が道路の水平線に重なるように上下方向の調整を行なったら【OK】を押す

- ・道路の水平線が画面の中央付近に収まる
- ・ボンネットが映像の下部から 25% 以内に収まる



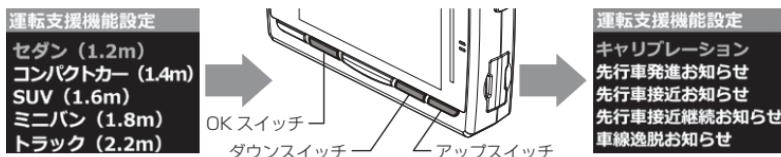
5. 次に青色の横線が車の先端に合うように【アップ】【ダウン】スイッチを操作し、調整を行なったら【OK】を押す



車両の先端が映らない場合は、前方約 3m 先の路面に合わせて青色線を調整してください。

運転支援機能
を使用する

6. 最後に車両の高さを選び【OK】スイッチを押し完了です



設 定

設定方法

本製品のシステム設定は、フロントカメラのメインメニューから変更を行うことができます。

録画に関する設定変更時の初期化について

本製品は専用のファイルシステムを採用しています。そのため、録画に関する本体の設定を変更すると microSDHC カード上の既存ファイルとの整合性が取れなくなり、microSDHC カードの初期化が必要となります。あらかじめご了承ください。

※ 初期化を行うと microSDHC カード内の録画データがすべて消去されます。必要な録画データはあらかじめビューソフトを使用し、パソコンへ保存することをおすすめします。

※ 設定変更時に microSDHC カードが初期化される設定項目については、P60/P61 の表(備考欄)をご参照ください。

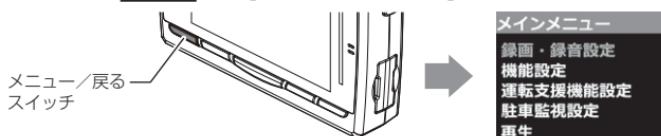
アドバイス

microSDHC カードの初期化を伴う設定変更の場合、設定画面から抜ける際の microSDHC カードの初期化をもって設定変更が反映されます。microSDHC カードの初期化が必要ない設定の場合は、変更した時点で反映されます。

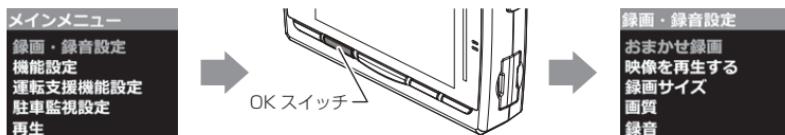
設定画面での操作方法

例：録画サイズの設定を【HD】に設定変更するには・・・

1. 【メニュー / 戻る】を長押しし、【メインメニュー】を表示する



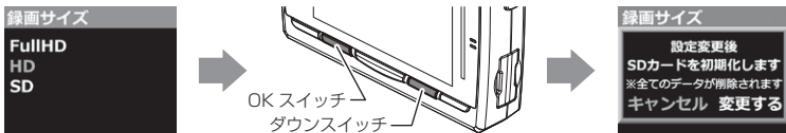
2. 【録画・録音設定】が選択されているので、もう一度【OK】を押す



3. 【ダウン】を1回押して【録画サイズ】を選択し、【OK】を押す



4. 【ダウン】を押して [HD] を選択し【OK】を押す

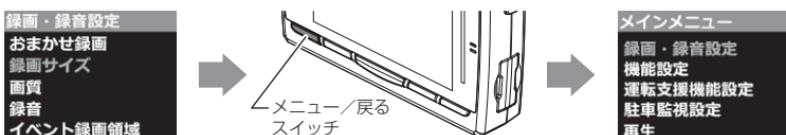


5. 【アップ】を押して [変更する] を選択し、【OK】を押し設定を変更する

・続けて別項目を設定することもできます。



6. 【メニュー / 戻る】を押し [メインメニュー] を終了し設定モードを抜けます



7. SD カードの初期化が始まり、初期化が終了すると録画画面が表示します

※ SD カードの初期化が終了する前に電源を OFF にすると、設定が変更前に戻る場合があります。



設 定

設定内容一覧

表内の【太字】は初期設定を示します。

録画・録音設定一覧

項目	設定内容	参照ページ	備考
おまかせ録画	キレイ / ロング / おすすめ	P62	microSDHCカードが初期化されます
録画サイズ	【Full HD (1920 × 1080)】 / HD (1280 × 720) / SD (640 × 360)		
画質	【高画質】 / 低画質		
録音	OFF / ON (小) / 【ON (大)】		
イベント録画領域	10% / 【20%】 / 30%	P63	microSDHCカードが初期化されます
上書き禁止	【OFF】 / イベント / ALL		
Fr カメラ画像補正	【HDR】 / WDR		
Fr カメラ輝度	明るい / 【標準】 / 暗い	P64	
Rr カメラ輝度	明るい+2 / 明るい+1 / 【標準】 / 暗い-1 / 暗い-2		
Rr カメラ上下反転	【標準】 / 反転		
Rr カメラ鏡像	【標準】 / 反転		

機能設定一覧

項目	設定内容	参照ページ	備考
G センサー	OFF / 0.1G ~ 【0.6G】 ~ 1.0G	P65	前後 / 左右 / 上下それぞれ設定可能
日時設定	年月日 時分秒	P25	
タイムスタンプ	【OFF】 / ON	P65	
緊急録画停止	OFF / 1.1G ~ 【1.5G】 ~ 2.0G	P66	
かんたんスイッチ	【再生】 / 録画 / 録音	P67	
液晶明るさ	明るい / 【標準】 / 暗い		
液晶表示	OFF / 【速度連動】 / ON / 時計	P68	
本体音量	OFF / 1 ~ 【5】 ~ 10		
パスワード	【OFF】 / ON (任意の4桁英数字)	P69	
SD カードの初期化	—	P70	
工場出荷状態に戻す	—		

運転支援機能設定一覧

項目	設定内容	参照ページ	備考
キャリブレーション	—	P56	
先行車発進お知らせ	【OFF】 / アラーム / 音声	P53,71	
先行車接近お知らせ	【OFF】 / アラーム / 音声	P54,71	
先行車接近継続 お知らせ	【OFF】 / アラーム / 音声	P54,72	
車線逸脱お知らせ	【OFF】 / アラーム / 音声	P55,72	
ドライブサポート	【OFF】 / アラーム / 音声		
車速アラーム	【OFF】 / 10km/h ~ 140km/h		10km/h 単位

駐車監視設定一覧

項目	設定内容		参照ページ	備考		
駐車監視モード	【OFF】 / ON		P76	microSDHC カード が初期化されます		
録画割合	【5%】 / 25% / 50%					
録画方式	衝撃 / 【常時・衝撃】 / タイムラプス					
録画停止電圧	12V 車	11.7V ~ 【12.2V】 (0.1V 単位で設定)				
	24V 車	23.4V ~ 【24.4V】 (0.2V 単位で設定)				
録画時間	30 分 / 【1 時間】 ~ 12 時間 / 常時 ON		P77	車両電圧を 認識し自動で 12V/24V を 切替えます。		
衝撃録画停止	OFF / 【ON】					
衝撃感度	高 / 【中】 / 低					
降車キャンセル	【1分】 / 2 分		P78			

設 定

録画・録音設定

おまかせ録画設定

- ※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます
- ・【録画サイズ】および【画質】の設定を一括で簡単に変更することができます。
 - ・設定は [キレイ / ロング / おすすめ] から選択できます。

■設定内容

設定		キレイ	ロング	おすすめ
録画サイズ	フロント	FullHD	SD	HD
	リヤ	HD	SD	HD
画質		高画質	低画質	高画質

録画サイズ設定

- ※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます
- ・記録する映像サイズを [Full HD (1920 × 1080) [注 1] / HD (1280 × 720) / SD (640 × 360)] から選択できます。
 - ・お買い上げ時は 【Full HD (1920 × 1080)】 に設定されています。
[注 1] リヤカメラの録画サイズは HD になります。

画質設定

- ※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます
- ・記録する映像の画質を [高画質 / 低画質] から選択できます。
 - ・お買い上げ時は 【高画質】 に設定されています。

録音設定

- ・記録する映像の音声録音を [OFF/ON(小)/ON(大)] から選択できます。
- ・お買い上げ時は 【ON (大)】 に設定されています。

イベント録画領域設定

- ※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます
- ・イベント録画（衝撃録画 / マニュアル録画 / 駐車監視衝撃録画）の容量割合を [10% / 20% / 30%] から選択できます。
 - ・お買い上げ時は 【20%】 に設定されています。
- ※ イベント録画件数が少ない場合は、常時録画領域として使用されます。

■ microSDHC カード容量によるイベント録画件数の目安

設定	microSDHC カード容量		
	8GB	16GB	32GB
10%	3 件	8 件	16 件
20%	7 件	16 件	32 件
30%	11 件	24 件	49 件

※ 上記件数は初期設定の録画サイズ (Full HD) ・ 画質 (高画質) ・ 駐車監視録画割合 (5%) での目安となり、実際とは異なる場合があります。また、駐車監視衝撃録画は含みません。

上書き禁止設定

- ・録画データが microSDHC カード容量の上限まで達した場合の動作を、
[OFF / イベント / ALL] から選択できます。
- ・お買い上げ時は 【OFF】 に設定されています。

設定		上限に達した場合	
		常時録画・駐車監視常時録画	イベント録画・駐車監視衝撃録画
OFF		すべての録画データを上書きします。	上書きして録画を継続
イベント		イベント録画データのみ上書きされません。	上書きして 録画を継続 録画を停止
ALL		すべての録画データは上書きされません。	録画を停止

Fr カメラ画像補正設定

- ・本製品には HDR (ハイ・ダイナミック・レンジ) 機能と WDR (ワイド・ダイナミック・レンジ) 機能を搭載することにより、白とびや黒つぶれを補正した、よりくっきりした録画データを記録することができます。
- ・HDR に設定した場合、複数の明暗の違う画像を合成することで、白とびや黒つぶれを補正します。
 - ※ 画像は鮮明に見えますが、光などの影が二重に記録されます。
- ・WDR に設定した場合、明るい領域を保ちながら暗い領域の明るさを上げ、全体の明度を平均的に補正し記録を行います。
 - ※ HDR 機能に比べ、鮮明さは低くなりますが、より自然な色味で映像を記録します。
- ・お買い上げ時は 【HDR】 に設定されています。

アドバイス

白とび / 黒つぶれとは

白とび……… 明るい部分が真っ白に映っている様子を言います。
黒つぶれ……… 暗い部分が真っ黒に映っている様子を言います。

設 定

Fr カメラ輝度設定

- ・フロントカメラで撮影する映像の明るさを [明るい / 標準 / 暗い] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

Rr カメラ輝度設定

- ・リヤカメラで撮影する映像の明るさを [明るい+2 / 明るい+1 / 標準 / 暗い-1 / 暗い-2] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

Rr カメラ上下反転設定

- ・リヤカメラで撮影する映像の上下方向を [標準 / 反転] から選択することができます。
- ・設置場所により [標準 / 反転] を変更してください。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

Rr カメラ鏡像設定

- ・リヤカメラで撮影する映像を [標準 / 反転] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

機能設定

G センサー設定

- ・衝撃を検出する感度を前後・左右・上下のそれぞれ [OFF/0.1G (敏感) ~ 1.0G (鈍感)] から選択できます。
- ・[OFF] に設定すると衝撃検出での録画を行いません。
- ・お買い上げ時は 【0.6G】 に設定されています。運転状況に合わせて調整してください

アドバイス

0.6G は、車がフルブレーキで停車する程度の加速度です。この設定値では、停車中のもらい事故やバンパーをこする・軽くへこむ程度の事故などでは衝撃記録されません。その場合は常時録画の映像を保存してください。

タイムスタンプ設定

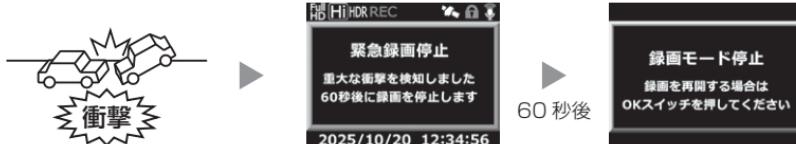
- ・本設定を ON にすることで録画データに録画日時を埋め込むことができます。専用ビューワソフトを使用せずに、Windows Media Player などで再生する際にも録画日時を確認することができます。
- ・お買い上げ時は 【OFF】 に設定されています。

タイムスタンプ機能は録画しながら映像へ日時を埋め込むため、処理状況により若干の時間のずれが発生することがあります。

設 定

緊急録画停止設定

- ・緊急録画停止機能とは、事故などで強い衝撃を検出した後の約 60 秒後に、自動で録画を停止し、重要なデータの上書きを防止する機能です。
- ※ 前後・左右・上下いずれかの衝撃が設定値を超えた際に録画を停止します。
- ・衝撃を検出する感度を [OFF/1.1G (敏感) ~ 2.0G (鈍感)] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【1.5G】に設定されています。



△ 注意

強い衝撃を検出し、録画が停止するまでの 60 秒の間に設定メニューに入る、microSDHC カードを抜く、その他メッセージ表示が出た場合は本機能による録画の停止は行われません。ご注意ください。

☞ アドバイス

事故にあった際に...

本製品は microSDHC カードの容量がいっぱいになると、常時録画、衝撃 / マニュアル録画それぞれの古いデータを上書きして新しいデータを記録します。

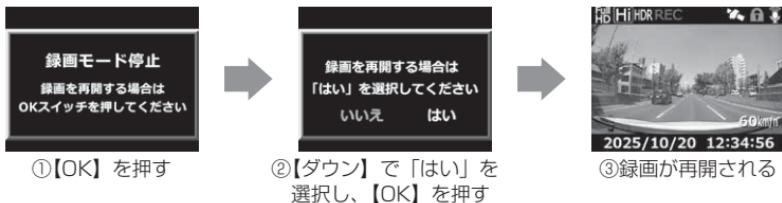
そのため事故後 microSDHC カードを抜かずにそのまま車両を移動させたり、修理工場で修理を行う際など本製品の電源が ON になった場合、重要なデータが不意に上書きされてしまう可能性があります。万一、事故に遭遇した際に、冷静に本製品の電源を OFF にし、microSDHC カードを抜く、といった行動を取るのが難しいと考えられる場合、本機能を有効にしておくことをお勧めします。

■ 録画を再開する場合

緊急録画停止機能によって録画が停止した場合、本製品を再起動しても録画が停止したままとなります。録画を再開する場合は、下記手順で録画を再開してください。

※ 再開するまで 3 分に一度ブザー音でお知らせします。

※ 事故時の録画データが必要な場合は録画を再開する前にパソコンへ保存してください。



かんたんスイッチ設定

- ・かんたんスイッチの動作内容を [再生 / 録画 / 録音] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は 【再生】 に設定されています。
[再生] 最後に撮影した映像を設定メニューに入らず再生します。 (⇒ P38)
[録画] マニュアル録画を行います。
[録音] 一時的に録音設定の ON/OFF を切替えます。

アドバイス

【録音】 設定について

- ・録音設定にすると、かんたんスイッチを押すたびに ON (大) / OFF または ON (小) / OFF に切替わります。
- ・かんたんスイッチ操作により設定を切替えた場合、再起動や設定メニューに入る、緊急録画停止機能が作動するなどの場合、【録音設定】 (⇒ P62) で選択した設定に戻ります。

液晶明るさ設定

- ・液晶ディスプレイの明るさを [明るい / 標準 / 暗い] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は 【標準】 に設定されています。

設 定

液晶表示設定

- ・録画モード中の液晶ディスプレイの表示を [OFF/ 速度連動 /ON/ 時計] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は 【速度連動】 に設定されています。

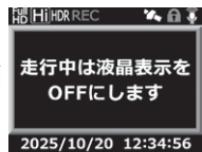
■設定内容

- [OFF]液晶ディスプレイの表示を行いません。【メニュー / 戻る】スイッチを押した時のみ、液晶ディスプレイを 30 秒間表示し、消灯します。
- [速度連動]起動後速度 10km/h 以上で走行すると、液晶ディスプレイは非表示に切替わります。停車後も非表示のままとなります。【メニュー / 戻る】スイッチを押すことにより、次回 10km/h 以上で走行するまでの間、表示を行います。
- [ON]液晶ディスプレイを常に表示します。
- [時計]時計とカレンダーを常に表示します。

アドバイス

速度連動設定について

- ・起動時は液晶ディスプレイを常に表示し、GPS を受信するまでの間、液晶ディスプレイを表示します。
- ・速度 10km/h 以上で走行し液晶ディスプレイが消灯する際は、メッセージ画面を表示し、消灯します。また走行中に【メニュー / 戻る】スイッチを押した際もメッセージ画面を表示し、消灯します。



本体音量設定

- ・本製品の確認音や再生時の音量を [OFF/1 ~ 10] の 11 段階から選択することができます。
- ・お買い上げ時は 【5】 に設定されています。

※ 音量を OFF に設定してもメッセージ画面表示の際はお知らせします。(⇒ P82,83)

パスワード設定

- ・パスワードを設定することで、他人に録画データを見られないようになりますなど、プライバシーの保護やセキュリティを強化することができます。
- ・パスワードを設定すると、設定メニューに入る際にパスワードを入力しないとメニュー画面が表示されません。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

※ パスワードを設定していると、駐車監視衝撃検知のお知らせ【再生】操作や、かんたんスイッチ操作による【再生】操作も行うことができません。（【録画】、【録音】操作は可能です）

■設定方法

- 1) P58～59 を参考に【機能設定】内の【パスワード】を選択後【OK】を押し、その後【ダウ】で【ON】を選択し、【OK】を押す



- 2) 【アップ】【ダウ】で英数字を選択し、【OK】で決定する

※「*」が入ったままだと設定できません。



- 3) 2) を繰り返し4文字のパスワードを入力し【OK】を押すと、再入力画面が表示されるので再度設定したパスワードを入力し【OK】を押すことで設定完了です



パスワードについて

【パスワードを設定した場合】

パスワードを忘れないように管理してください。

【誤ったパスワードを入力した場合】

『「パスワードが違います」と表示されるので、再度入力を行なってください。』

【パスワード設定を解除する場合】

パスワードを入力して設定メニューに入り、パスワード設定画面で【OFF】を選択してください。

【パスワードを忘れてしまった場合】

パスワードの入力を5回失敗すると消去することができます。ただし、録画データもすべて消去され設定内容が初期化されてしまいますのでご注意ください。

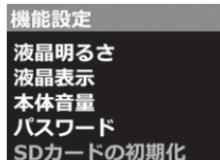
設 定

SD カードの初期化（録画データの消去）

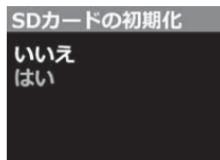
microSDHC カードの録画データを消去し初期化を行います。
(初期化を行なっても本製品の設定情報は保持されます)

■初期化方法

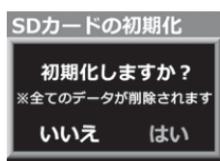
1) P58 ~ 59 を参考に [機能設定] 内の [SD
カードの初期化] を選択し、【OK】を押す



2) SD カードの初期化確認画面が表示されるので、
【ダウン】で [はい] を選択し、【OK】を押す



3) 再度確認画面が表示されるので【ダウン】で
[はい] を選択し、【OK】を押すと micro
SDHC カードが初期化されます



アドバイス

- ・ microSDHC カード内のデータがすべて消去されます。録画データが必要な場合は、必ず事前にバックアップを行なってください。
- ・ 安定してご使用いただくため、定期的に初期化することをおすすめします。

工場出荷状態に戻す（オールリセット）

本製品に記録された録画データおよび設定情報をすべて消去します。

△ 注意

- ・ 消去したデータを復元することはできません。
- ・ microSDHC カードの初期化中は絶対に電源を切らないでください。途中で電源を切った場合、microSDHC カードの故障の原因となりますのでご注意ください。

運転支援機能設定

運転支援機能の各設定を【音声】に設定した際は、下記表のアナウンスを行います。

※【車速アラーム】に【音声】設定はありません。

■ [音声] 設定時のアナウンス内容

項目	アナウンス内容
先行車発進お知らせ	ピンポーン♪ 先行車を確認してください。
先行車接近お知らせ	ピピピピッ♪ 先行車に接近しています。
先行車継続接近お知らせ	ピピピピッ♪ 車間距離を確認してください。
車線逸脱お知らせ	ピピピピッ♪ 走行車線を確認してください。
ドライブサポート 急加速時	ピロリロリン♪ 急発進を検知しました。
ドライブサポート 急減速時	ピロリロリン♪ 急ブレーキを検知しました。
ドライブサポート 急ハンドル時	ピロリロリン♪ 急ハンドルを検知しました。
車速アラーム	チャイム音♪ (キンコン) × 3

※【アラーム】設定時は効果音のみでお知らせします。

先行車発進お知らせ設定

- ・停車時に前方の車両の発進を検出すると、お知らせを行います。
- ・[OFF/アラーム/音声]を設定できます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

先行車接近お知らせ設定

- ・60km/h以上で走行中に自車が前方車両への接近を検出すると、お知らせを行います。
- ・[OFF/アラーム/音声]を設定できます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

先行車接近継続お知らせ設定

- ・[先行車接近お知らせ]後に、前方車両への接近を10秒間継続していることを検出すると、お知らせを行います。
- ・接近中は10秒ごとに3回までお知らせを行います。
- ・[OFF/アラーム/音声]を設定できます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

本機能は【先行車接近お知らせ】機能と連動しているため、【先行車接近お知らせ】設定が【OFF】の場合、本機能の設定を行うことはできません。

設 定

車線逸脱お知らせ設定

- ・60km/h以上で走行中に自車が走行車線の逸脱を検出すると、お知らせを行います。
- ・[OFF/アラーム/音声]を設定できます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

ドライブサポート設定

- ・急加速や急減速等、一定以上の「G(加速・減速)」を検出時に、アラーム音または音声でお知らせする機能です。エコ運転の目安にしてください。また、長時間運転報知機能も連動してONになります。
 - ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。
- ※ Gセンサーの設定が0.3G以下の場合はお知らせしません。
※ 自車の走行速度が30km/h未満の場合は、急ハンドル時のお知らせを行いません。

☞ アドバイス

- ・[Gセンサー]の設定値に応じて検出レベルが変化します。
- ・アラームが鳴らないように運転をすることで、加速・減速など運転をする際の目安にしてください。
- ・スイッチ操作または衝撃により映像を記録している時はドライブサポートは作動しないことがあります。
- ・長時間運転報知機能のみONにすることはできません。

◇長時間運転報知機能

連続で2時間運転を行なった時に下記のアナウンスを行います。

※ ドライブサポート機能を『アラーム』に設定していてもアナウンスを行います。
「運転時間が2時間になりました。そろそろ休憩してください。」

車速アラーム設定

- ・設定画面で[OFF/10~140km/h]から選択し設定することで設定した速度を超えた場合にアラーム音で警告を行います。また、警告後1分間は再アラームを行いません。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

機器情報

本製品のファームウェアバージョンおよび本製品への入力電圧を表示します。

※ 表示される入力電圧はあくまでも参考値となり、接続方法によっても表示誤差は発生します。



駐車監視モードを使用する（オプション）

駐車監視モードについて

- 本製品は別売オプションの HDROP-14 『駐車監視・直接配線コード』を使用することで、車両キースイッチ OFF 後も電源供給を行い、録画を行うことができる駐車監視モードを搭載しています。
- 使用する際は必ず設定画面より【駐車監視モード】の設定を変更してください。お買い上げ時の状態では駐車監視モードには移行しません。

駐車監視モードに設定する前に

【メニュー / 戻る】を長押しし、【メインメニュー】

→ 【駐車監視設定】 → 【録画停止電圧設定】を表示します。現在の入力電圧が表示されますので、テスターなどを使用して電源コードの常時電源線接続箇所の電圧と表示された電圧の数値に大きな差がないことを確認します。

録画停止電圧 入力電圧13.5V

12.2V

アドバイス

- 常時電源線の接続箇所と電圧の差が大きい場合は、常時電源線の接続確認やアース線接続箇所の変更を行なってください。
- 表示される数値はあくまでも参考値となります。本製品の設定内容によっても表示誤差は発生します。
- 常時電源線のカットや延長は表示数値の誤差が大きくなるため行わないでください。

△ 注意

- 駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行なってください。
- 次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。
(毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している)
- 駐車監視モードの使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行なってください。車両バッテリー上がりの原因となります。
- 長時間録画を行う場合、microSDHC カードの容量や本製品の設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。

車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

駐車監視モード
を使用する

駐車監視モードを使用する（オプション）

駐車監視モードの動作について

駐車監視モードに移行する

- ・[駐車監視モード] 設定を ON に設定し、車両キーイッチを OFF にすると駐車監視モードに移行します。
- ・駐車監視モード動作中は LED ランプが緑 3 回点滅を繰り返します。
- ・駐車監視モード中の常時録画データは『駐車監視常時録画』データとして記録され、衝撃録画データは『駐車監視衝撃録画』データとして記録されます。

■駐車監視モード動作中



緑 3 回点滅

アドバイス

車両キーイッチ OFF 後、[降車キャンセル] (⇒ P78) 設定時間内は、降車時の振動による衝撃とみなし、衝撃の検出を行いません。

駐車監視モードを終了する

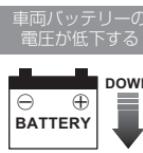
- ・駐車監視モードは車両キーイッチが ACC または ON になった時点や【駐車監視】スイッチを押すことで終了させることができます。
- ・停止電圧設定以下になった際や駐車監視録画時間設定で設定した時間経過後にも駐車監視モードは終了します。

■駐車監視モードを手動で終了する場合

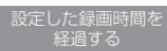


駐車監視スイッチを押す

■駐車監視モードが自動的に終了される場合



BATTERY



設定した録画時間まで経過する

アドバイス

駐車監視モード中に衝撃を検出した場合、次回起動時に駐車監視モード中に衝撃があったことをアナウンスでお知らせします。またお知らせ画面を解除するまで録画を開始しません。

乗車キャンセル機能

車両キーイッチを ACC または ON 後、1 分以内に検出した衝撃は、乗車時の振動による衝撃とみなし上記アナウンスを行いません。

ワンタイム駐車監視モード機能

- 通常駐車監視モード設定を【OFF】に設定していても、録画中またはエンジン停止後 60 秒以内に駐車監視スイッチを押すことで、一時的に駐車監視モードを ON することができます。
- 外出先でのみ駐車監視モードを使用したい場合などにご使用することをおすすめします。

駐車監視モードパス機能

- 通常駐車監視モード設定を【ON】に設定していても、駐車監視スイッチを押すことで、一時的に駐車監視モードを OFF することができます。
- 機械式立体駐車場や振動の多い場所、風の強い日など、本製品が衝撃を検出してしまうような場所へ駐車する際にご使用することをおすすめします。
- 駐車監視モード中に操作を行うことで、駐車監視モードを終了することができます。

アドバイス

「ワンタイム駐車監視モード」「駐車監視モードパス機能」について

- 車両キースイッチを ON にし、電源を ON にすることで解除され、【駐車監視モード設定】による設定に戻ります。
- 駐車監視モードを一時的に ON/OFF する機能のため、通常の駐車監視モードと動作、録画領域など違いはありません。

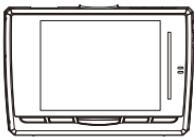
駐車監視モード作動中の microSDHC カードの取り出し方

駐車監視モード作動中の場合、車両キースイッチを OFF にしても本製品は動作しています。そのため microSDHC カードを抜く際は、必ず【駐車監視】スイッチを押して駐車監視モードを終了後、microSDHC カードアクセスランプが消灯したことを確認し、microSDHC カードを抜いてください。

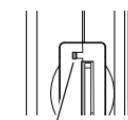
駐車監視モード動作中
(LED3 回点滅の繰り返し)



駐車監視スイッチを押す



駐車監視モード停止
(LED 消灯)



microSDHC カード
アクセスランプ
(LED 消灯)

駐車監視モード
を使用する

駐車監視モードを使用する（オプション）

駐車監視モードの各種設定

駐車監視モード設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・本製品の駐車監視モードは【OFF / ON】から選択できます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

録画割合設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・駐車監視録画データの保存容量の割合を【5% / 25% / 50%】から選択できます。
- ・駐車監視モード設定を ON にすると自動で 50% に変更されます。また、駐車監視モード設定を OFF にしても 50%のまま設定を保持し、変更はされません。
- ・お買い上げ時は【5%】に設定されています。

録画方式設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・本製品の駐車監視録画方式設定は【衝撃 / 常時・衝撃 / タイムラップス】から選択できます。
- ・お買い上げ時は【常時・衝撃】に設定されています。
[衝撃] 駐車監視モード中、衝撃録画のみ記録します。
[常時・衝撃] 駐車監視モード中、常時録画および衝撃録画の記録を行います。
[タイムラップス] 駐車監視モード中、1 秒に 1 枚の静止画を記録し、実際の時間より短い動画として保存することで、長時間の常時録画および衝撃録画の記録を行います。また、リヤカメラの録画は行いません。
※タイムラップス録画中は録音設定に関わらず、録音はされません。
※フロントカメラのみの録画となります

アドバイス

タイムラップス録画について

- ・タイムラップス録画に設定した場合、通常 1 ファイルあたりに記録される実時間は 15 分になります。15 分の記録を 1 分で再生し短時間で確認することができます。
- ・タイムラップス中に衝撃を受けた場合、衝撃ポイントは記録されますが、表示位置がズレることがあります。
- ・予期せぬ電源 OFF の際は、短い録画データ（最大 1 秒）が保存される場合があります。

録画停止電圧設定

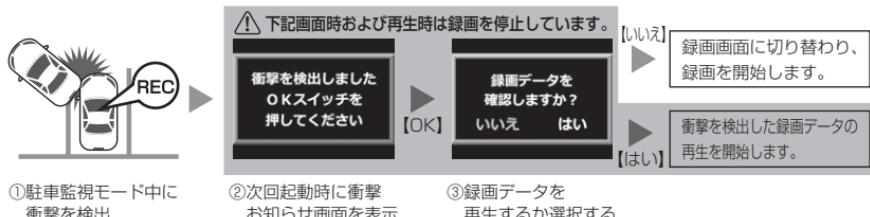
- ・駐車監視モードを停止する車両バッテリーの電圧を 12V/24V 車両それぞれ 6 段階から選択できます。
 - ・お買い上げ時は 12V 車両は【12.2V】 24V 車両は【24.4V】に設定されています。
- 12V 車両 [11.7V / 11.8V / 11.9V / 12.0V / 12.1V / 12.2V]
24V 車両 [23.4V / 23.6V / 23.8V / 24.0V / 24.2V / 24.4V]

録画時間設定

- ・駐車監視モードの動作時間を【30 分 / 1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 4 時間 / 5 時間 / 6 時間 / 7 時間 / 8 時間 / 9 時間 / 10 時間 / 11 時間 / 12 時間 / 常時 ON】から選択できます。
- ・【常時 ON】に設定すると、車両バッテリー電圧が【録画停止電圧設定】で設定した電圧に低下するまでの間、動作を行います。
- ・お買い上げ時は【1 時間】に設定されています。

衝撃録画停止設定

- ・駐車監視モード中に衝撃を検出した場合に、上書き防止のため 5 分後に録画を停止します。また、次回起動時に衝撃を検知したことをメッセージとブザー音でお知らせします。
- ・お買い上げ時は【ON】に設定されています。



衝撃感度設定

- ・駐車監視モード中の衝撃を検出する感度を【高 / 中 / 低】から選択できます。
 - ・お買い上げ時は【中】に設定されています。
- ※ 駐車監視モード中に検出した衝撃が設定値未満のときは、駐車監視衝撃録画を行いません。

駐車監視モードを使用する（オプション）

降車キャンセル設定

- ・車両から降車時の振動や衝撃による記録を行わない時間を【1分 / 2分】から選択できます。
- ・お買い上げ時は【1分】に設定されています。

タイムラプス録画設定時の記録時間の目安

- ・[録画方式] 設定を【タイムラプス】に設定した場合、1秒に1枚の静止画を記録することで、1分間のファイルに15分間分の映像が収録されます。
- ・付属 microSDHC カードの各設定別記録時間は下記表を参考にしてください。

録画サイズ	画質	録画割合 (microSD カード 16GB)		
		5%	25%	50%
FullHD	高画質	約 2.5 時間	約 8 時間	約 16 時間
	低画質	約 3 時間	約 13 時間	約 26 時間
HD	高画質	約 2.5 時間	約 15 時間	約 31 時間
	低画質	約 4 時間	約 27 時間	約 52 時間
SD	高画質	約 7.5 時間	約 47 時間	約 89 時間
	低画質	約 12.5 時間	約 79 時間	約 146 時間

※  は本製品の初期設定を示します。

※ 上記の記録時間はあくまで参考値です。

※ 市販の microSDHC カードを使用する場合は、必ず本製品で動作することを確認のうえ、ご使用ください。なお、動作や保存などの保証は致しかねますので、あらかじめご了承ください。

※ 使用する microSDHC カードによっては上記録画時間と異なる場合があります。

駐車監視モードについてのご質問

Q. 駐車監視モード中はずっと録画していますか？

- A. 本製品の駐車監視モード中は電源 OFF 後も設定により常時録画および衝撃録画を行います。ただし、駐車監視モード設定中でも【録画時間】設定時間経過後や、車両バッテリーの電圧が【録画停止電圧】設定以下になると、駐車監視モードを終了します。
※ 夏の暑い日や冬の寒い日など、駐車監視モード中に本製品の使用温度範囲を超えた場合、録画を停止する場合があります。あらかじめご了承ください。

Q. 駐車監視モードへ移行しない、すぐに停止してしまう

- A. 1. 【駐車監視モード】設定が【ON】に設定されていることをご確認ください。
2. 本製品は車両バッテリー保護のため、停止電圧が設定されています。車両バッテリーが劣化している場合など、車両バッテリーの電圧が【録画停止電圧】設定以下の場合やその付近の場合など駐車監視モードが作動しない場合があります。
3. HDROP-14『駐車監視・直接配線コード』の常時電源線（黄）を、車両 ACC 線へ接続していたり、未接続だと駐車監視モードへは移行しません。

Q. 駐車監視モードを使用せず、走行中のみ録画したい

- A. 【駐車監視モード】設定を【OFF】に設定し、録画割合を 5% に設定してください。

Q. 駐車監視モードの作動確認を行うには？

- A. 駐車監視モード作動中はフロントカメラの LED ランプが下記点滅を繰り返します。

LED ランプ	本体動作	内容
緑 3 回早点滅	録画中	駐車監視モードによる録画中 降車キャンセルタイマー中
橙 3 回早点滅	監視中	衝撃待機中 ※【録画方式】設定を【衝撃】に設定時のみ
緑点滅	録画中	駐車監視モードによる衝撃録画中

Q. 後方、側方の映像も録画しますか？

- A. フロントカメラとリヤカメラの向いている方向のみの録画となります。録画方式をタイムラプス録画に設定した場合は、フロントカメラのみの録画となります。

Q. 夜間の街灯などの無い暗い所でも撮影できますか？

- A. 1. 駐車監視モード中はヘッドライトなどの光源が無いため、状況によって鮮明な映像が記録できない場合があります。あらかじめご了承ください。
2. リヤガラスがプライバシーガラスになっている場合、夜間の記録映像は特に見えにくくなります。

駐車監視モード
を使用する

付 錄

よくあるご質問

よくお問い合わせ頂くご質問を記載しています。下記内容をご確認ください。

内 容	ここをチェックしてください。	参照ページ
LED ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none">● シガープラグコードのヒューズが切れていませんか？● 接触不良や断線などしていませんか？	— 13 ページ
GPS 衛星を受信しない	<ul style="list-style-type: none">● フロントガラスが断熱ガラスなどではありませんか？● フロントカメラ側に電波を遮断する物がありませんか？	6 ページ 14 ページ
記録した映像を削除したいのですが？	<ul style="list-style-type: none">● ビューソフトを使用してファイルを削除することができます。	49 ページ
事故の衝撃映像が保存されていない。	<ul style="list-style-type: none">● 事故時の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。念のためスイッチ操作での録画を行うことをお勧めします。● 衝撃録画されていなかった場合は、常時録画データにてご確認ください。	—
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	<ul style="list-style-type: none">● [録画サイズ] および [画質] の設定を変更することで記録時間を変更することができます。	62 ページ
microSDHC カードの容量がいっぱいになつたらどうなりますか？	<ul style="list-style-type: none">● microSDHC カードの容量がいっぱいになると古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。● イベント録画データ（衝撃 / マニュアル / 駐車監視衝撃）は上書き禁止設定を [イベント] または [ALL] に設定しているとメッセージが表示され、上書きされません。録画を再開するにはビューソフトで不要なデータを削除するか、上書き禁止設定を [OFF] に設定してください。	28 ページ 63 ページ
microSDHC カードに録画データが保存されていない。	<ul style="list-style-type: none">● microSDHC カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1 日 2 時間程度走行する場合で約 1 ~ 2 年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況により microSDHC カードの寿命は短くなります。	8 ページ
本体が熱くなる	<ul style="list-style-type: none">● 本製品の動作中、本体表面が熱くなることがありますが異常ではありません。● 液晶画面に「高温注意」のメッセージが表示された場合は、しばらく時間をおいて動作温度範囲内に戻ってからご使用ください。	5 ページ 82 ページ
起動しなくなったり、動作が不安定になる。	<ul style="list-style-type: none">● microSDHC カード内に本機以外のデータが保存されていますか？● 必要な映像をパソコンへ保存してから、本製品で microSDHC カードの初期化を行なってください。	5 ページ 8 ページ
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	<ul style="list-style-type: none">● 事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。	5 ページ
microSDHC カードがパソコンで認識されない	<ul style="list-style-type: none">● お使いの SD カードリーダーは SDHC に対応していますか？付属のカードは microSDHC カードとなっているため、SDHC に対応している必要があります。	—
ビューソフトが起動しない	<ul style="list-style-type: none">● microSDHC カードに不要なデータや破損ファイルがあるとビューソフトが起動しなくなります。 必要な映像をパソコンへ保存してから、本製品で microSDHC カードの初期化を行なってください。	70 ページ

LED ランプ確認表

フロントカメラ動作時の LED ランプの確認表です。

■フロントカメラ LED 表示

LED ランプ表示	本体動作	内容
緑点灯	録画中	録画中
緑点滅	録画中	衝撃録画中またはマニュアル録画中
橙点灯	録画停止	設定モード中
橙点滅	録画停止	メッセージ表示または緊急録画停止中
緑・橙交互点滅	録画停止	本体ファームウェアのアップデート中
駐車監視時		
緑 3 回早点滅	録画中	駐車監視モードによる録画中 降車キャンセルタイマー中
橙 3 回早点滅	監視中	衝撃待機中 ※録画方式【衝撃】を選択
緑点滅	録画中	駐車監視モードによる衝撃録画中

オートディマー機能

オートディマー機能により、周囲の明るさによって LED ランプと液晶の明るさを自動的に調整します。

商標について

microSDHC ロゴは SD-3C LLC の商標です。



付 錄

メッセージ一覧表

下記メッセージが表示された場合、対処方法をご確認ください。

メッセージ	対処方法
SD カードが挿入されていません	電源を OFF 後 microSDHC カードを挿入し、再起動してください。
SD カードを確認してください	microSDHC カードが故障している可能性があります。電源 OFF 後、microSDHC カードを抜き、端子部が汚れていないか確認し、microSDHC カードを挿入し再起動してください。症状が改善されない場合は、パソコンでフォーマットを行い、お試しください。それでも改善されない場合は microSDHC カードの寿命が考えられるため、microSDHC カードの交換をおすすめします。
録画データと設定が一致しません どちらか選択して初期化してください	新しい microSDHC カードを挿入、または設定が異なる microSDHC カードを挿入すると表示されます。[SD カード] または [本体設定] を選択して初期化を行なってください。 ※選択した方が初期化されます。
録画データが変更されています SD カードの初期化を行なってください	microSDHC カード内の録画データをパソコンで削除など操作をした際に出るメッセージです。本製品で microSDHC カード初期化を行なってください。
高温注意 本体温度が下がるまで 録画を停止します	本製品の使用温度範囲を超えていため、正常に録画できないことが考えられます。夏場などはしばらく時間をおいて車内の温度が下がってからご使用ください。
上書き禁止 イベント録画がいっぱいです	上書き禁止設定を [イベント] または [ALL] に設定した状態で、microSDHC カードの容量を超えて録画しようとした際に出るメッセージです。
上書き禁止 録画データがいっぱいです 録画を停止します	上書き禁止設定を [OFF] に設定するか、ビューアソフトで不要な録画データを消去してください。
再生できません	電源 ON のまま microSDHC カードを抜くなどして、破損したデータを再生しようとした際に表示します。
リセットスイッチを押して 再起動してください	リセットスイッチを押して本製品を再起動してください。症状が改善されない場合は、購入された販売店へご相談ください。
パスワードが違います	パスワードが間違っています。正しいパスワードを再度入力してください。
しばらくお待ちください	スーパー・キャバシタの充電中またはリヤカメラの接続確認中に表示されます。処理が終了するまでしばらくお待ちください。 ※状況により数分かかる場合があります。
書き込み速度が低下しています 本体の再起動を行います	microSDHC カードの断片化が進み、書き込み速度が低下した際に表示されます。必要なデータをパソコンに保存し、本製品の設定メニューから初期化を行なってください。(⇒ P8,70)

メッセージ	対処方法
日時がリセットされました 日時を再設定し、1時間程度走行して バッテリーの充電を行なってください 症状が改善しない場合は、 バッテリーの交換を行なってください	長期使用していない場合や内蔵バッテリーの寿命など、内蔵バッテリーの充電不足により日時情報がリセットされた際に出るメッセージです。1時間程度走行し内蔵バッテリーの充電を行なってください。症状が改善されない場合は弊社サービスセンターまでご相談ください。
更新に失敗しました ボタンを押すと再起動します 10秒後に自動再起動します	機種名をご確認のうえ、専用のファームウェアをもう一度ダウンロードして更新を行なってください。
リヤカメラの 接続を確認してください	リヤカメラと通信できない場合に出るメッセージです。カメラ通信ケーブルの接続確認を行なってください。
リヤカメラを 確認してください	リヤカメラが正常に動作していない場合に出るメッセージです。カメラ通信ケーブルの抜き差しを行なっても、症状が改善されない場合は弊社サービスセンターまでご相談ください。

※ 上記メッセージ画面を表示し、LED ランプの橙点滅でお知らせします。

付録

製品仕様

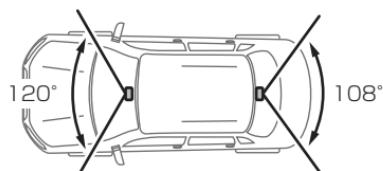
項目	フロントカメラ	リヤカメラ
電源電圧	12V/24V	
最大消費電流	通常時：350mA 以下／スーパー・キャパシタ充電時：800mA 以下	
動作温度範囲	-10°C～60°C	
カメラ	撮像素子 1/2.7型 CMOS センサー 総画素数 200万画素 有効画素数 最大 200万画素 レンズ画角 水平 120° 垂直 60° (対角 151°) F値 F2.0 レンズ材質 ガラス	1/4型 CMOS センサー 100万画素 最大 100万画素 水平 108° 垂直 63° (対角 134°) F2.4 ガラス
記録映像サイズ	FullHD (1920 × 1080) HD (1280 × 720) SD (640 × 360)	— HD (1280 × 720) SD (640 × 360)
録画画質	FullHD 高画質（平均 11Mbps）低画質（平均 7.6Mbps） HD 高画質（平均 6.8Mbps）低画質（平均 3.8Mbps） SD 高画質（平均 1.1Mbps）低画質（平均 0.95Mbps）	
GPS	あり	
Gセンサー	あり (0.1G～1.0G : 0.1G 単位で設定可)	
バックアップ電源	あり (スーパー・キャパシタ)	
記録方式	常時録画／イベント録画 (衝撃録画／マニュアル録画 [手動録画])	
録画ファイル構成	1分単位	
音声録音	ON/OFF 可能	
フレームレート	29fps 注1	28fps
映像ファイル形式	MOV (MPEG-4 AVC / H.264)	
記録映像再生方法	専用ビューソフト ※ Windows 8.1/10 専用 (タブレットPC除く) ビデオ出力 (別売: AVケーブル [VC-100] が必要) 本体液晶	
記録媒体	microSDHC カード (付属: 16GB/class10) 8GB～32GB 対応 class10 推奨	
液晶サイズ／液晶解像度	2.7インチフルカラー TFT 液晶 / 320 × 240	
本体サイズ (突起部除く)	87 (W) × 58.7 (H) × 27 (D) /mm [取付ステー装着時] 87 (W) × 87.5 (H) × 27 (D) /mm	69.5 (W) × 22 (H) × 17.3 (D) /mm 69.5 (W) × 46.8 (H) × 17.3 (D) /mm
本体重量	128g(取付ステー含む)	27g(取付ステー含む)

注 1.LED 信号機が消灯状態で記録されないようにフレームレートを調整済み。

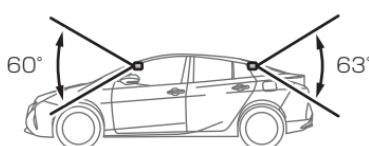
※ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

■ カメラ画角イメージ

■ 水平画角



■ 垂直画角



1/A

Fr カメラ画像補正設定	63
Fr カメラ輝度設定	64
GPS	7
G センサー	65
HDR	63
microSDHC カード	8
Rr カメラ輝度設定	64
Rr カメラ鏡像設定	64
Rr カメラ上下反転設定	64
SD カードの初期化	70
WDR	63

あ

イベント録画	29
イベント録画件数	62
イベント録画領域	62
上書き禁止設定	63
運転支援機能	52
液晶明るさ設定	67
液晶表示設定	68
液晶表示の切替え	36
オートディマー機能	81
オールリセット	70
おまかせ録画設定	62

か

画質設定	62
画像補正	63
かんたん再生機能	38
かんたんスイッチ設定	67
キャリブレーション	56
記録件数	31
記録時間	31
緊急録画停止機能	66
黒つぶれ	63
降車キャンセル設定	78
工場出荷状態に戻す	70

さ

車線逸脱お知らせ	54, 72
車速アラーム	55, 72
衝撃感度設定	77
衝撃録画	29
衝撃録画停止設定	77
乗車キャンセル機能	74
常時録画	28
白とび	63
先行車接近お知らせ	53, 71
先行車接近継続お知らせ	54, 71
先行車発進お知らせ	53, 71

た

タイムスタンプ設定	65
タイムラプス	76
駐車監視衝撃録画	30
駐車監視・直接配線コード	73
駐車監視モードバス機能	75
駐車監視録画方式	76
長時間運転報知機能	55, 72
ドライブサポート	55, 72

は

パスワード設定	69
ビューワーソフト	41
ファイルシステム	8
本体音量設定	68

ま

マニュアル録画	30
---------	----

ら

録音設定	62
録画サイズ設定	62
録画時間設定	77
録画停止電圧設定	77
録画割合設定	76

わ

ワンタイム駐車監視モード機能	75
----------------	----